

AVINO

ピュアAシステム

KF-6000MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ございました。

ご使用前に、この取扱説明書をお読み
のうえ、説明の通り正しくお使いくださ
い。

本説明書のほかに、取扱説明書・別冊
「安全上のご注意」が付属されています。
使用者の安全のため、必ず別冊の内容も
お読みの上ご使用ください。

また、取扱説明書は大切に保管して、必
要になったときに繰り返しお読みくだ
さい。

本機は日本国内専用モデルですので、外
国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9 (ケンウッド青葉台第二ビル)
(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

B60-2958-00 (CH) (J) MC
97/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

アビーノシリーズについて

KF-6000MDシステムのシリーズ構成は次の様になっています。

- R-SA7(アンプ・チューナー)
- DM-SA5(MDレコーダー/CDプレーヤー)
- LS-G40(スピーカー)
- X-SA7(カセットデッキ)

本機の特長

ミニディスク MDレコーダーを標準装備

- 26

デジタルならではの高音質を実現するMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーもカンタンにできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなど、多彩な機能が自慢です。

イージーオペレーション

アビーノシリーズをシステムコントロール接続すると、R-SA7の入力切換キーで入力(TAPE, TUNER, CD, MD)を切り換えるだけで、選んだ機器が再生を始めます。逆に、目的の機器を再生させると、入力切り換えが自動的にその機器に切り換わります。

CDプレーヤー

プログラム再生、リピート再生やランダム再生など、楽しみ方もいろいろあります。

便利な編集録音

- 47

タイム編集録音：指定期間内に曲がとぎれないように録音します(CD→テープのみ)。ワンタッチエディット機能：CDやMDを聴いていて、好きになった曲だけワンタッチで録音したり、1枚まるごとワンタッチで録音できます。

小音量時の高音質モード"ピュアA"

- 67

セットのそばで聴くときや、夜間など小音量で聴くときは、純A級動作モード(ピュアA)にすることをおすすめします。ひずみが少なく、滑らかな高音質をお楽しみいただけます。大きめの音量で聴くときは、通常モードでお楽しみください。

カンタン操作のタイマー

- 69

目覚ましタイマー、おやすみタイマーが簡単にセットできます。毎日働くプログラムタイマーも予約しておけます。



目次

準備編

音を出す前に

- はじめに 2
- アビーノシリーズについて 2
- 本機の特長 2
- 目次 3
- 接続のしかた 5
- △アンテナの接続 5
- △オーディオコードの接続 6
- スピーカーの接続 8
- △システムコントロールコードと電源コードの接続 9
- 各部のなまえと働き 10
- 本体部 10
- リモコン部 14
- リモコンの使いかた 16

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

- 音を出してみましょう 18
- 基本的な使いかた 18
- CDを聴く 20
- テープを聴く 22
- MDを聴く 26
- 放送を聴く 30
- 録音してみましょう 32
- テープに録音する 32
- MDに録音する 36
- CDを聴く 40
- 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) 40
- 繰り返し聴く(リピート再生) 42
- 予期しない曲順を楽しむ(ランダム再生) 43
- MDを聴く 44
- 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) 44
- 繰り返し聴く(リピート再生) 46

応用編

楽しさが広がります

- 便利な録音あれこれ 47
- 録音のタイプを選ぶ 47
- 1枚のCD、MDをワンタッチで録音する(ワンタッチエディット全曲録音) 48

- いい曲があれば、その曲だけ録音する(ワンタッチエディット1曲録音) 49
- テープの長さに応じて曲順を入れ替える(タイム編集録音)(CD→TAPEのみ) 50
- MDの編集機能 51
- 編集機能のタイプを選ぶ 51
- ミニディスクや曲にタイトルを付ける 52
- タイトルを変更、消去する 54
- 曲順をまとめて入れ換える(QUICK MOVE) 56
- 曲順を1曲ずつ入れ換える(TRACK MOVE) 58
- 曲を分ける(TRACK DIVIDE) 60
- 曲をつなぐ(TRACK COMBINE) 62
- 1曲消す(TRACK ERASE) 64
- 全曲消す(ALL ERASE) 65
- 曲の一部分を消す 66
- 高音質で聴く(ピュアA) 67
- △ピュアAモードで聴く 67
- 時刻合わせ 68
- タイマーを使う 69
- オペレートイージートウユーズタイマー(O.T.T.) 69
- おやすみタイマー 69
- プログラムタイマー予約 70

知識編

知っているると何かと便利です

- 知っておきましょう 73
- メンテナンス 73
- 参考 74
- ディスクとテープの取り扱いかた 75
- 故障と思われる症状ですが..... 79
- △定格 85
- 保証とアフターサービス(必ずお読みください) 87

安全編(別冊)

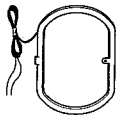
安全にお使いいただくために

安全編には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用前に、必ずお読みください。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ (1個)



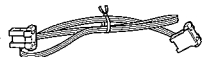
AMループアンテナ
スタンド (1個)



オーディオコード (5本)



システムコントロール
コード (2本)



FM 室内アンテナ (1本)



スピーカーコード (2本)



リモートコントロール
ユニット (1個)



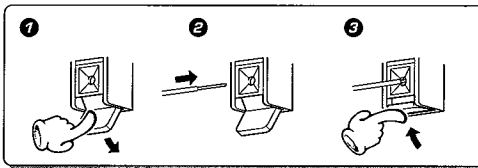
リモコン用単3乾電池
(R6/SUM-3) (2本)



1. アンテナの接続

アンテナは、図のように接続します。

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

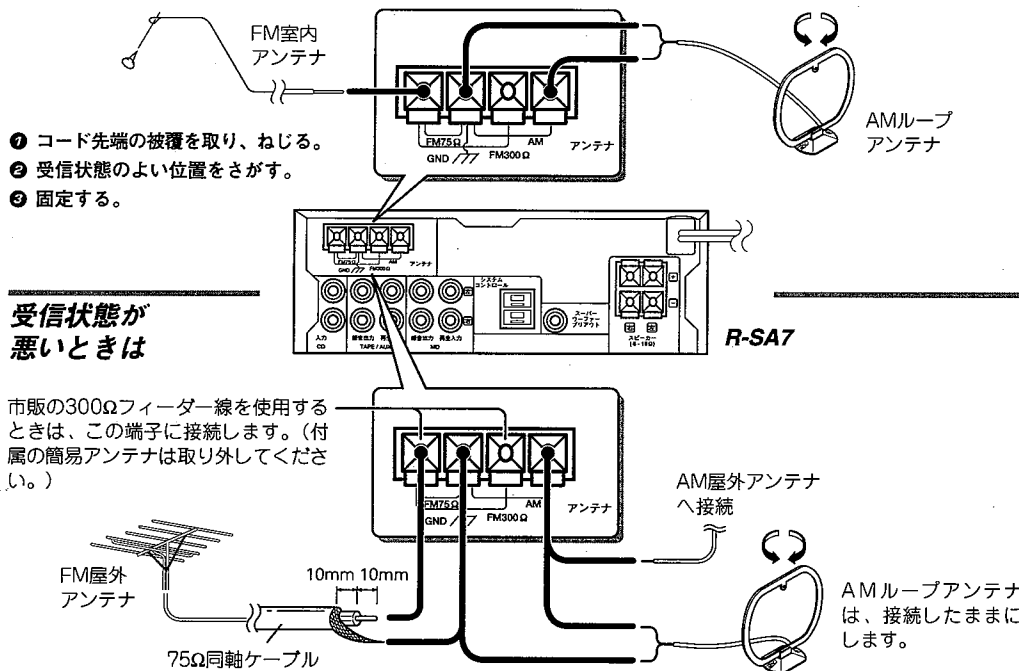
付属アンテナの接続

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ (別売) の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態が一番よい方向に向けます。



- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

受信状態が悪いときは

市販の300Ωフィーダー線を使用するときは、この端子に接続します。(付属の簡易アンテナは取り外してください。)

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

AMループアンテナは、接続したままにします。

2. オーディオコードの接続

ここでは、システム接続することを考慮して、別売の機器の接続もあわせて説明しています。お買い上げの機器に合わせて正しく設置し、必要なコードを接続してください。

注意



接続のご注意

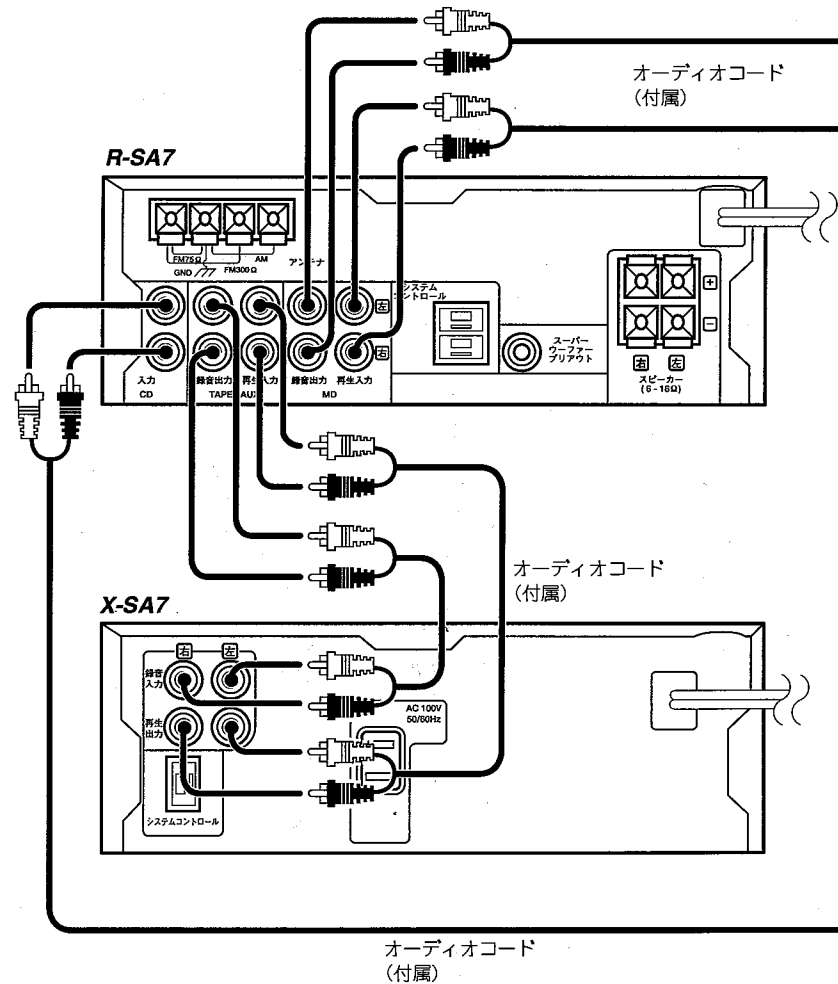
接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
機器の接続は、図のように行ってください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。



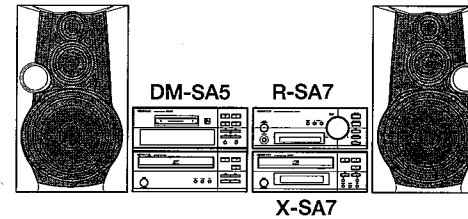
→79



システム構成と設置のしかた

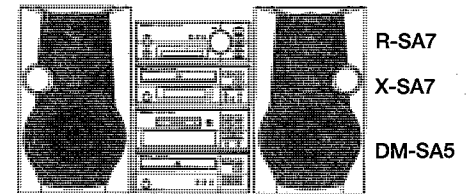
横置きの場合

前から見たところ



縦置きの場合

前から見たところ



注意

R-SA7(アンプ・チューナー)は、電源オン時には、内部で生じる熱を放熱しています。設置の際は、R-SA7を必ず一番上に設置し、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。



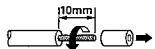
関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

3.スピーカーの接続

スピーカーは、図のように接続します。
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

スピーカー部

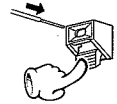
① コードの処理



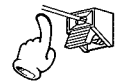
② レバーを押したままで



③ コードを差し込む



④ レバーを戻す

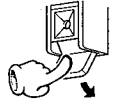


アンプ・チューナー部

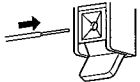
① コードの処理



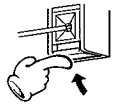
② レバーを押す



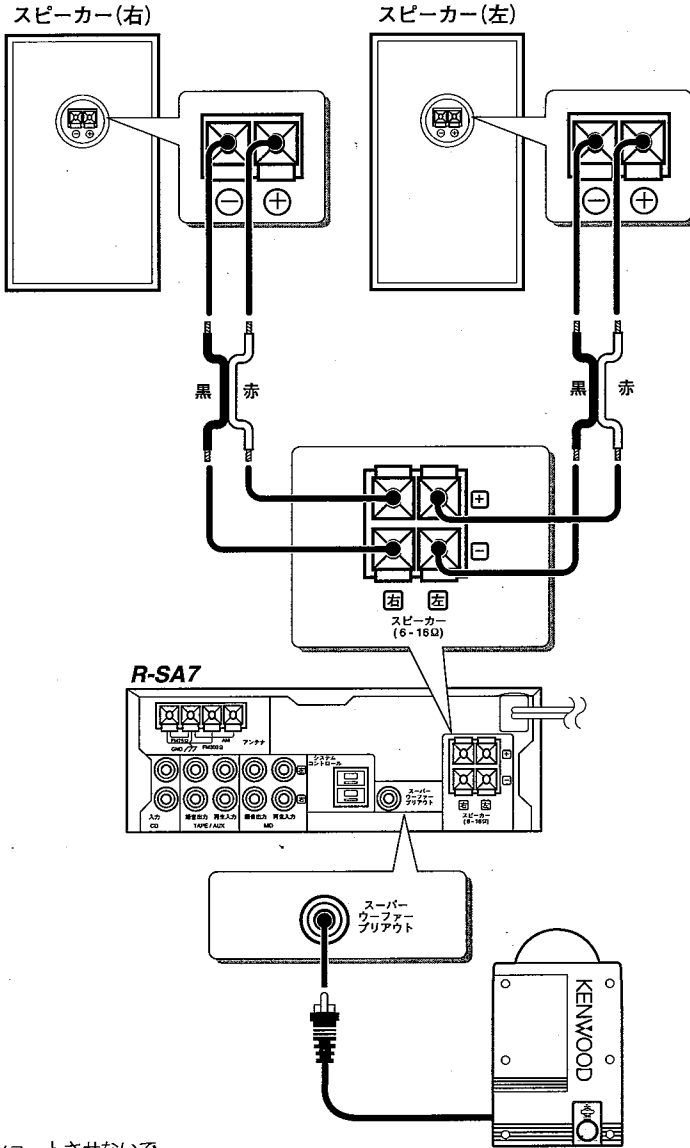
③ コードを差し込む



④ レバーを戻す



- スピーカーコードの十とーは絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続すると、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。



スーパーウーファー (SW-10) (別売)
重低音を力強く再生します。

4.システムコントロールコードと電源コードの接続

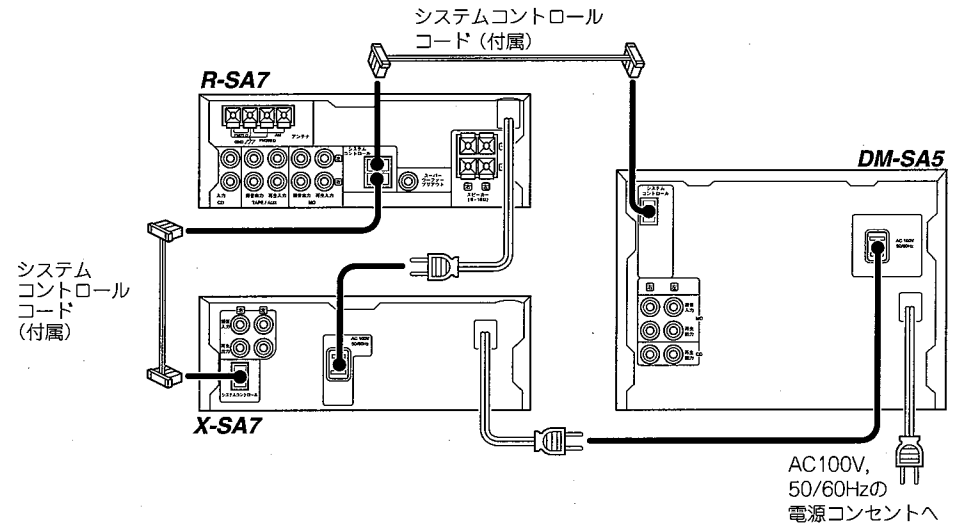
⚠ 警告 ACコンセント

背面のACコンセントが供給できる電力はそれぞれ200W (DM-SA5)、100W (X-SA7)までです。接続する装置の消費電力の合計が200W (DM-SA5)、100W (X-SA7)を超えないようにしてください。火災の原因になります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。
また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

電源コードの接続

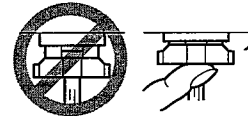
電源コード以外のすべての接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

システムコントロールコードと電源コードは、図のように接続します。



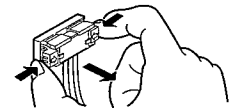
システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込み、ロックする

コネクターを抜く

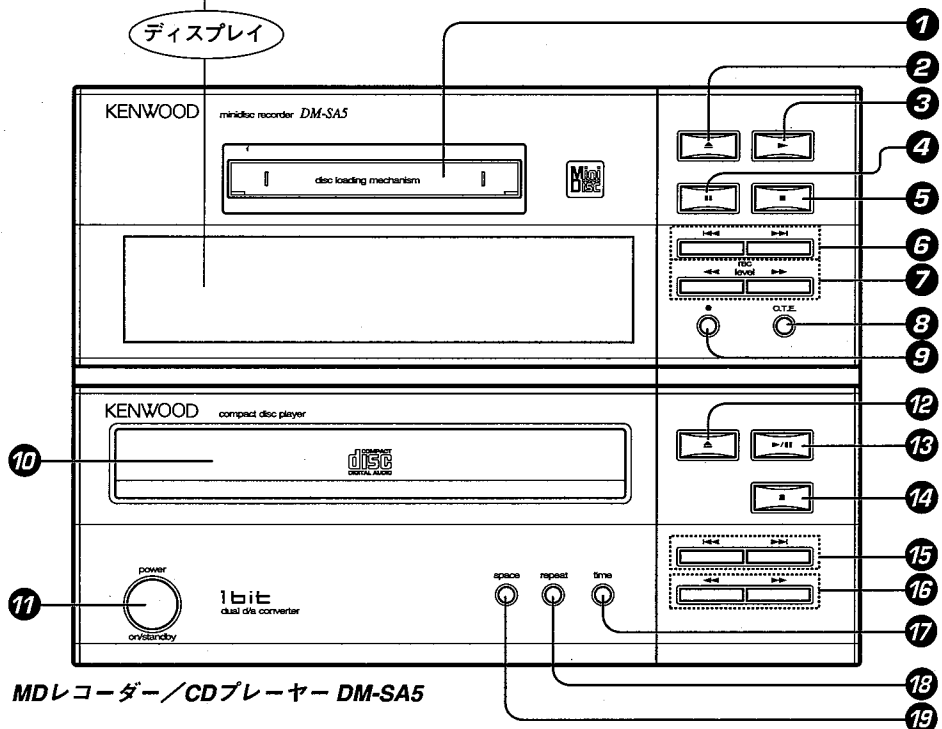
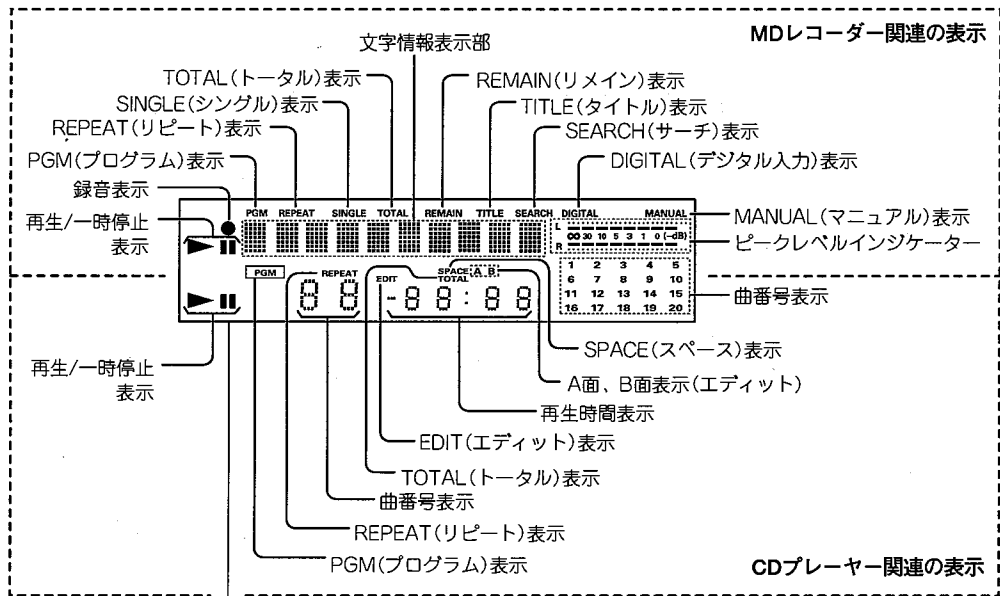


コネクター部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜く



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音ができなくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

本体部



MDレコーダー/CDプレーヤー DM-SA5

DM-SA5

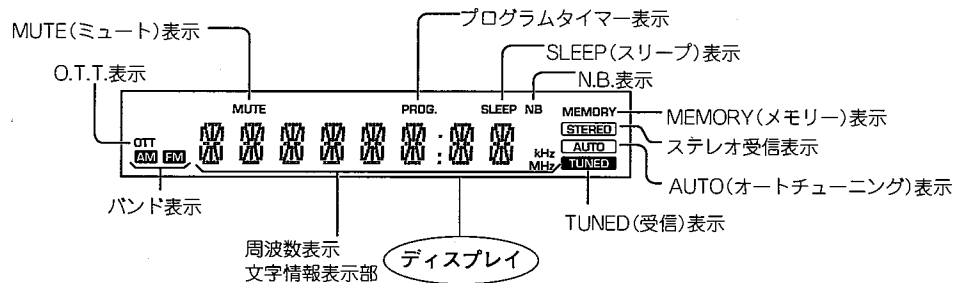
MDレコーダー部

- ① ミニディスク挿入口 → [26]
- ② イジェクト (▲) キー → [27]
ミニディスクを取り出すときに押します。
- ③ 再生 (▶) キー → [26]
再生キーとして使います。
- ④ 一時停止 (⏸) キー → [27]
一時停止キーとして使います。
- ⑤ 停止 (■) キー → [27]
動作を停止させます。
- ⑥ スキップ (◀▶) キー → [27]
再生のときは、スキップ(曲の飛び越し)キーに使います。
タイトル入力するとき、文字の選択に使います。編集のときは、トラックNo.の選択に使います。

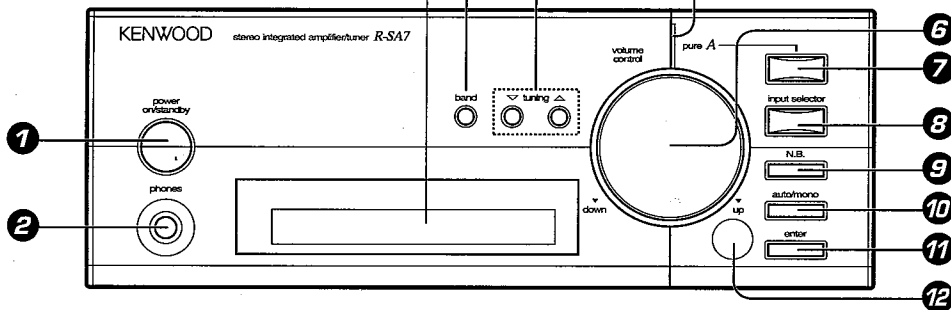
- ⑦ 早送り、早戻し (◀▶) / rec levelキー → [27] → [36]
再生のとき、早送り、早戻しに使います。
録音のとき、録音レベルの調節に使います。
タイトル入力ときは、入力カーソルの移動に使います。
その他に、タイトルサーチや、編集にも使います。
- ⑧ ワンタッチエディット (O.T.E) キー → [47]
CD再生の曲を、ワンタッチで録音したいときに使います。
- ⑨ 録音 (●) キー → [36]
MDの録音キーとして使います。

CDプレーヤー部

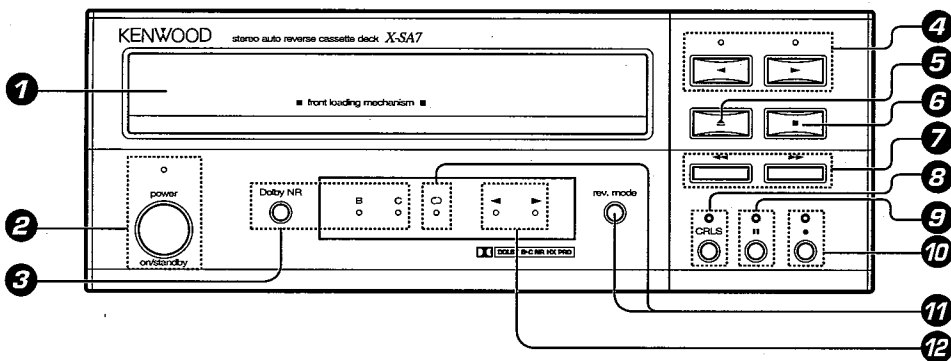
- ⑩ ディスクトレイ → [20]
CDを収納します。
- ⑪ "power"キー → [20]
MDレコーダー/CDプレーヤーの電源をオン/オフ(スタンバイ)します。システム接続しているときは、使用しません。
- ⑫ オープン/クローズキー(▲) → [20]
ディスクトレイを開閉します。
- ⑬ 再生/一時停止キー(▶/⏸) → [20]
- ⑭ 停止 (■) キー → [21]
- ⑮ スキップ (◀▶) キー → [21]
- ⑯ 早送り、早戻し (◀▶) キー → [21]
早送り、早戻しに使います。
- ⑰ "time"キー → [21]
CDの時間表示を切り換えます。
- ⑱ "repeat"キー → [42]
CDを繰り返し再生するときに使います。
- ⑲ "space"キー → [41]
プログラム再生のときに、曲間に数秒間の無音部分を作ります。



アンプ・チューナー R-SA7



カセットデッキ X-SA7



アンプ・チューナー R-SA7

- 1 "power"キー - [18]
電源のオン/オフを切り換えます。システム接続しているときは、システム全体の電源のオン/オフを切り換えます。
- 2 "phones"端子 - [19]
ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。
- 3 "band"キー - [30]
電源オンのとき: 放送バンドを切り換えます。
電源オフのとき: タイマー予約に使用します。
- 4 "tuning" (Δ ∇)キー - [30]
電源オンのとき: 放送局の選択に使用します。
電源オフのとき: タイマー予約に使用します。
- 5 ピュアAインジケータ - [67]
ピュアAモードのときに点灯します。
- 6 "volume control"つまみ - [18]
通常は、音量の調節に使用します。タイマー予約や、時刻合わせにも使用します。
- 7 "pure A"キー - [67]
ピュアAモードのオン/オフを切り換えます。
- 8 "input selector"キー - [18]
入力ソースを選びます。TAPE、CD、MDを選んだとき、すでにテープやディスクがセットされていれば、自動的に再生が始まります。
- 9 N.B.キー - [19]
音質の補正に使用します。
- 10 "auto/mono"キー - [31]
電源オンのとき: 選局モードの切り換えに使用します。
電源オフのとき: 時刻合わせに使用します。
- 11 "enter"キー - [31] - [68]
放送局のプリセットや、時刻合わせ、タイマー設定などに使用します。
- 12 リモコン受光部 - [16]
システムリモコン(RC-SA5)を使用するときに使います。

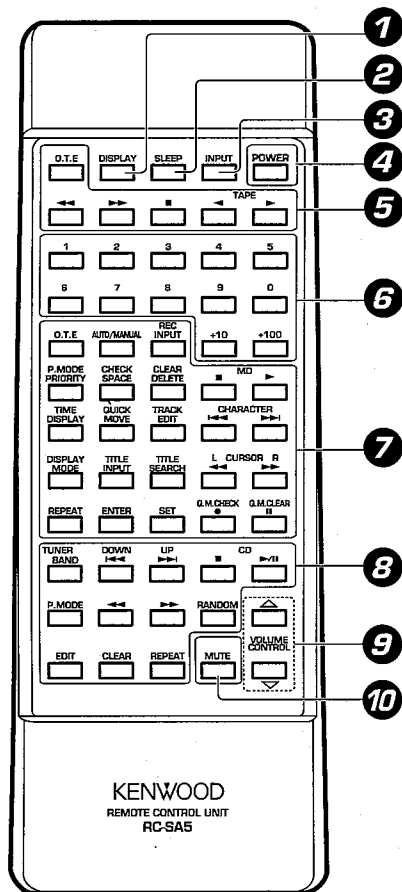
カセットデッキ X-SA7

- 1 テープトレイ - [22]
カセットテープを収納します。
- 2 "power"キー/スタンバイインジケータ - [22]
電源のオン/オフを切り換えます。システム接続しているときは、使用しません。
- 3 Dolby NRキー/インジケータ - [23]
ドルビーノイズリダクションのオン/オフを切り換えます。
- 4 再生キー(◀ ▶)/動作インジケータ - [22]
選ばれている走行方向の動作インジケータが、再生録音中は点灯し、早送り・早戻し中は点滅します。
- 5 オープン/クローズキー(▲) - [22]
テープを出し入れするときに、テープトレイを開きます。
- 6 停止(■)キー - [23]
- 7 早送り、早戻し(◀▶)キー - [23]
- 8 CRLSキー/インジケータ - [34]
録音する音楽ソースに合わせて、録音レベルを自動設定します。
- 9 一時停止(⏸)キー/インジケータ - [23]
- 10 録音(●)キー/インジケータ - [32]
録音を始めます。録音中に押すと、約4秒間の無音部分(アキ)を作ってから停止します。
- 11 "rev. mode"キー/インジケータ - [23]
デッキのリバースモード(両面、片面)を切り換えます。
- 12 走行方向インジケータ - [23]
テープの進む向きを表示します。

リモコン部

本リモコンは、本体部にはない操作キーが収納されており、さまざまな応用操作に使用します。リモコンを無くさぬように保管してください。

リモコンのキーのうち本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



型名:RC-SA5
赤外線方式

- ① **DISPLAY** キー
アンブ・チューナー部の表示内容を切り換えます。
(時計表示 ↔ 入力(周波数)表示)
- ② **SLEEP** キー → [69]
おやすみタイマーを設定するときに使います。
- ③ **INPUT** キー → [18]
入力ソースを選びます。TAPE、CD、MDを選んだとき、すでにテープやディスクがセットされていれば、自動的に再生が始まります。
- ④ **POWER** キー → [18]
アンブ・チューナー(R-SA7)の電源のオン/オフを切り換えます。システム接続しているときは、システム全体の電源のオン/オフを切り換えます。
- ⑤ **カセットデッキ操作キー** → [22]
カセットデッキ(X-SA7)を操作するときに使います。
- ⑥ **O.T.E.キー** → [47]
CDまたはMDの再生中に押し、そのとき再生している曲だけをテープへ録音します。停止中に押し、CDまたはMDを1曲目から録音します。
- ⑦ **数字キー** → [21] - [29] - [31]
入力切替がCDやMDのとき、数字キーとして使います。(+100キーはMDレコーダー専用です。)入力切替がチューナーのとき、プリセットした放送局を呼び出します。
- ⑧ **MD操作キー** → [47]
O.T.E.キー
CDの再生中に押し、そのとき再生している曲だけをMDへ録音します。停止中に押し、CDを1曲目から録音します。
- ⑨ **AUTO/MANUAL** キー → [38]
アナログ録音のとき、トラック番号を自動で付ける(AUTO)か、後で手動で付ける(MANUAL)かを選びます。
- ⑩ **REC INPUT** キー → [39]
入力切替がCDのとき、デジタル/アナログのいずれかの録音入力モードを切り換えます。
- ⑪ **P.MODE/PRIORITY** キー → [44] - [52]
(P.MODE)プログラム再生のときに使います。
(PRIORITY)タイトル入力の際に、文字グループの選択に使います。
- ⑫ **CHECK/SPACE** キー → [45] - [55]
(CHECK)プログラム内容を確認します。
(SPACE)タイトル入力の際に、1文字ぶんの空白を挿入します。

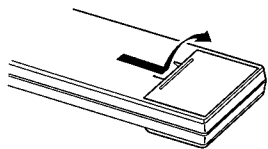
MD操作キー(つづき)

- CLEAR/DELETE** キー → [44] - [55]
(CLEAR)プログラムの内容を削除します。
(DELETE)タイトル入力の際に、文字を削除します。
- TIME DISPLAY** キー → [29]
時間表示モードを切り換えます。
- QUICK MOVE** キー → [56]
曲順の入れ換えに使います。
- TRACK EDIT** キー → [56]
編集モードの切り換えに使います。
- CHARACTER/スキップ(◀▶)キー** → [27] - [52]
(CHARACTER)タイトル入力の際に、文字の選択に使います。
(◀▶)通常時はスキップキーとして使います。
- DISPLAY MODE** キー → [29]
タイトル表示モードを切り換えます。
- TITLE INPUT** キー → [52]
タイトル入力モードの切り換えに使います。
- TITLE SEARCH** キー → [28]
タイトルサーチモードの切り換えに使います。
- CURSOR(L,R) / 早送り、早戻し(◀▶)キー** → [27] - [52]
(CURSOR)タイトル入力の際にカーソルの移動に使います。
(◀▶)通常時は、早送り、早戻しキーとして使います。
- REPEAT** キー → [46]
繰り返し再生に使います。
- ENTER** キー → [46]
処理や入力の実行に使います。
- SET** キー → [46]
処理や入力の確定に使います。
- Q.M. CHECK / 録音(●)キー** → [36] - [56]
(Q.M.CHECK)編集時に入れ換えた曲の確認に使います。
(●)通常時は、録音キーとして使います。
- Q.M. CLEAR / 一時停止(■)キー** → [27] - [56]
(Q.M.CLEAR)編集時に入れ換えた曲の削除に使います。
(■)通常時は、一時停止キーとして使います。

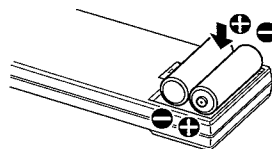
- ⑬ **チューナー、CD操作キー**
BAND キー → [30]
放送バンドを切り換えます。
- DOWN / UP / ◀▶** キー → [21] - [30]
(DOWN / UP)チューナーのときはプリセットコールキーとして使います。
(◀▶)CDのときはスキップキーとして使います。
- P.MODE** キー → [40]
プログラム再生に使います。
- RANDOM** キー → [43]
曲順を順不同に再生します。
- EDIT** キー → [50]
タイム編集録音のときに使います。
- CLEAR** キー → [41]
プログラム内容を消去します。
- REPEAT** キー → [42]
繰り返し再生に使います。
- ⑭ **VOLUME CONTROL(Δ ▽)キー** → [18]
本体部のボリュームコントロールつまみと同じ働きをします。ただし、AIボリュームは動きません。
- ⑮ **MUTE** キー → [19]
一時的に音を消すときに使います。

電池の入れかた

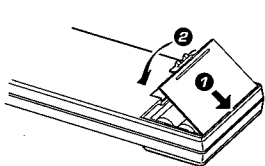
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



- 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

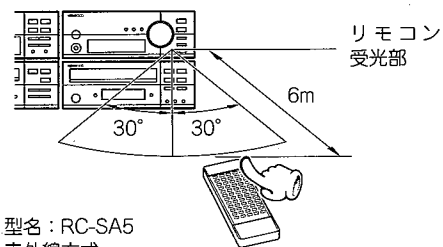
操作のしかた

すべての電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度POWERキーを押します。時刻表示のみ点灯するスタンバイ状態になります。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす



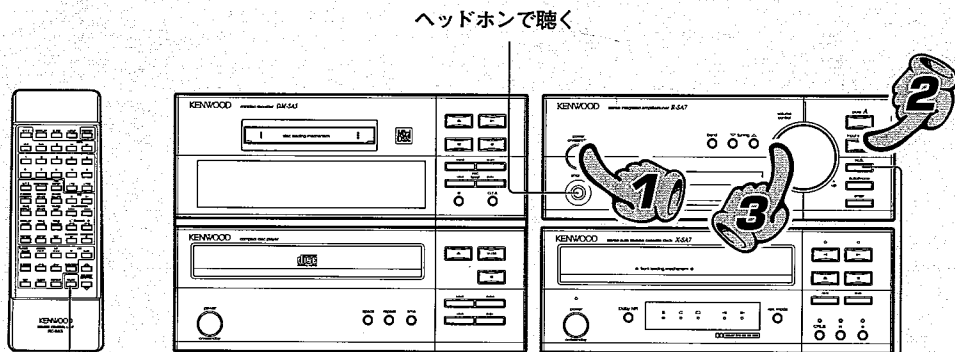
型名: RC-SA5
赤外線方式



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



基本的な使いかた



一時的に音を消す

ヘッドホンで聴く

重低音を補正する

一時的に音を消す (リモコンのみ)



リモコン

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

音質を補正する (N.B. : Natural Bass circuit)

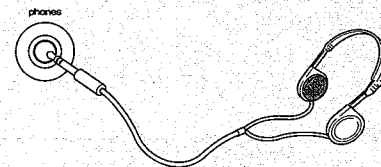


押すたびに表示が切り換わります。

- ① NB ON 1.....音量にあわせて高音域と低音域を補正(小音量時に有効です)
- ② NB ON 2.....音量にかかわらず高音域と低音域を補正
- ③ NB OFF

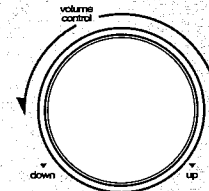
ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

- ② 音量を調節する



アンプ・チューナーの "power" キーを押す



1. 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときに "power" キーを押すとオフになります。

- システム全体のオン/オフができます。リモコンのPOWERキーも、同じ働きをします。
- 電源がオフのときは、表示部が暗くなります。(デマラー機能)

2. 聴きたいものを選ぶ

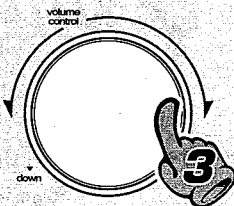
input selector



- CD - 20
- テープ - 22
- MD - 26
- 放送 - 30

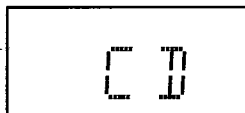
- CD、MD、TAPÉを選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

3. 音量を調節する



このシステムは小音量再生の性能向上の為、専用の回路を使用しております。その為、大音量でお楽しみいただくときに、回路の切り換えをボリュームレベル表示60と61の間で行っており、一瞬音が途切れるように聴こえますが、これは異常ではありません。

CDを選んだとき R-SA7



音量の表示 R-SA7



- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI ボリューム機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。

オートパワーセーブ機能について

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。この機能は、次の操作で、使う/使わないを選べます。

pure A

電源がオフのときに押す



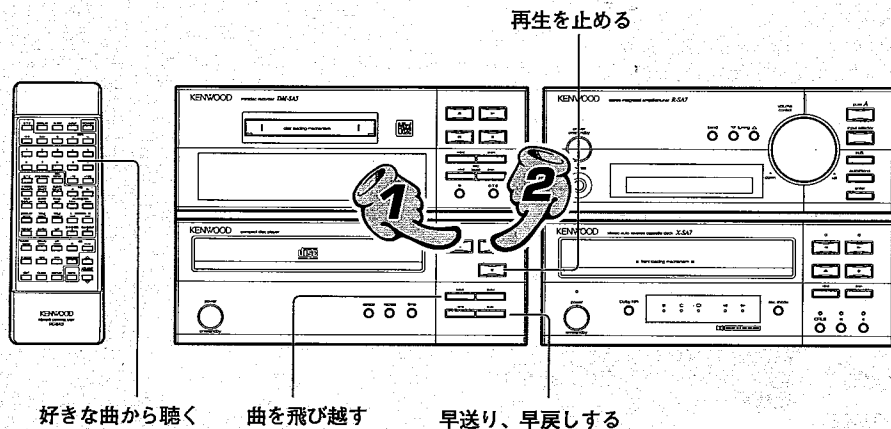
押すたびに表示が切り換わります。

- ① SAVE ON.....オートパワーセーブを使う
- ② SAVE OFF... オートパワーセーブを使わない
- 入力切替がチューナーのときは、音量がゼロのときに限り働きます。

パワースイッチのスタンバイについて

本システムではスタンバイ状態(R-SA7が時刻表示、DM-SA5が"-STANDBY-"表示、X-SA7がスタンバイインジケータ点灯)のときは、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。このとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。

CDを聴く



曲を飛び越す

戻る 進む

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に キーを押すと、その曲の最初に戻ります。

早送り・早戻りする

早戻し 早送り

- 手を離れたところから再生します。

一時停止する



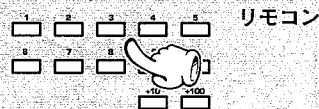
- 押すたびに、一時停止と再生が切り替わります。

再生を止める



好きな曲から聴く

曲を選ぶ



数字キーを押す順序は

23曲目なら
 40曲目なら

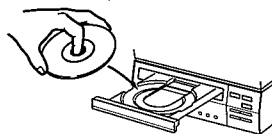
1. ディスクを入れる



キーを押すとトレイが開き、もう一度押すと閉まります

- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

ラベル面を上にする



2. 再生をはじめる



電源がオンのときに、CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、入力切換をCDにするだけで再生が始まります。

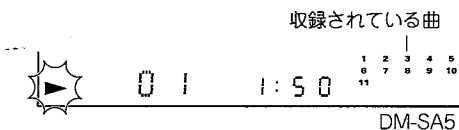
CDプレーヤーの時間表示について

"time"キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

time



- 再生面には、触れないようにします。



- 数秒後に1曲目から再生します。

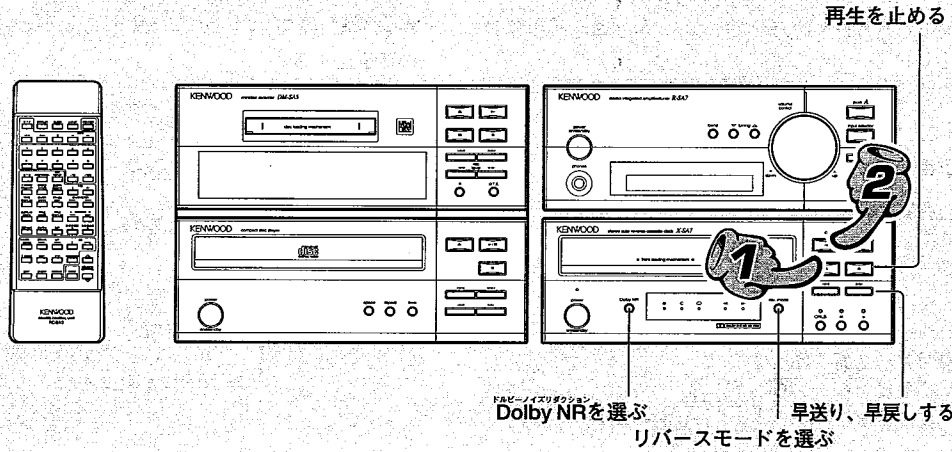
- ① 1: 2 3 再生中の曲の経過時間
- ② - 2: 3 7 再生中の曲の残り時間
- TOTAL
- ③ 2 3: 4 5 ディスク全体の経過時間
- TOTAL
- ④ - 3 6: 1 5 ディスク全体の残り時間

- エディットモードとランダムモードでは、再生中の曲の表示のみです。

⚠ 注意

レーザー光源をのぞかない
 レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

テープを聴く



再生を止める
Dolby NR を選ぶ
早送り、早戻りする
リバースモードを選ぶ

一時停止する



- キーの上のインジケーターが点灯します。
- 再生を再開するときは、再生キーを押します。

早送り・早戻りする



- 早送りを止めるときは、■ キーを押してください。

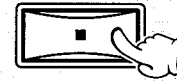
リバースモードを選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① "⇄"点灯.. 両面をエンドレス再生する (両面を録音して止まる)
- ② 消灯 片面のみを再生(録音)して止まる

再生を止める



ドルビー NR を選ぶ

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。

Dolby NR



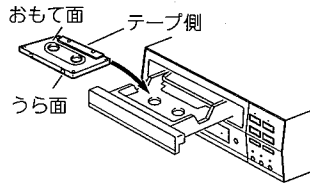
押すたびに切り換わります。

- ① "B" 点灯....ドルビーB NRを使う
- ② "C" 点灯....ドルビーC NRを使う
- ③ "B" "C" 消灯....ドルビー NRを使わない

- ドルビー NR をオンにして録音したテープを再生するときは、録音したドルビー NR を選んで再生してください。

1. カセットテープを入れる

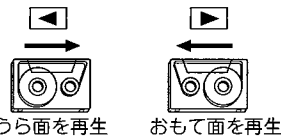
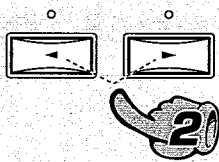
- ① トレイを開ける
- ② テープを入れ、トレイを閉める



- テープは、図のように正しく入れてください。間違った入れ方をすると、故障の原因となります。
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。

2. 再生する

再生したい走行方向のキーを押します。



電源がオンのときにカセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、入力切換をTAP Eにするだけでカセットデッキの再生が始まります。

- 走行方向が逆のときは、再生したい方向のキーを押してください。

走行方向表示について

イーザーオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするときの、テープが進む方向を、◀▶インジケーターの点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(向きを変えるときは、再生したい方向のキーを押してから■キーを押します。)

走行方向表示



DPSS

DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)で、4秒以上の無録音部分を「曲間」として探し出して、カセットテープをCDのように手軽に操作できます。

飛び越し選曲

曲の頭出しをしたり、途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生することができます。最大16曲まで飛び越せます。

▶方向に再生中

次の曲を聴くとき：1回押す
4曲先を聴くとき：4回押す

聴いている曲の最初に戻るとき：1回押す
4曲前に戻るとき：5回押す

◀方向に再生中

次の曲を聴くとき：1回押す
4曲先を聴くとき：4回押す

聴いている曲の最初に戻るとき：1回押す
4曲前に戻るとき：5回押す

無音部分を早送りして聴く(ダッシュ&プレイ)

再生中に10秒以上の無音があると、その部分を自動的に早送りし、音声のある部分だけを再生します。

本体のみ

同時に押す

- リバースモードの状態では動作が変わります。
- ① "↔"点灯.. 両面を8回繰り返し再生して止まる
- ② 消灯.....片面のみを8回繰り返し再生して止まる
- 停止キーを押すと再生が停止し、ダッシュ&プレイは取り消されます。

同じ曲を繰り返し聴く(1曲リピート)

同じ曲を16回繰り返して再生します。

再生中に押す

おもて面を聴いているとき(▶点灯中)

うら面を聴いているとき(◀点灯中)

- そのとき聴いている曲を、16回繰り返して再生し、通常の再生に戻ります。
- 停止キーを押すと再生が停止し、1曲リピートは取り消されます。

巻き戻し再生

そのとき聴いている面の最初まで巻き戻してから、再生が始まります。

本体のみ

おもて面を聴いているとき(▶点灯中)

同時に押す

うら面を聴いているとき(◀点灯中)

同時に押す

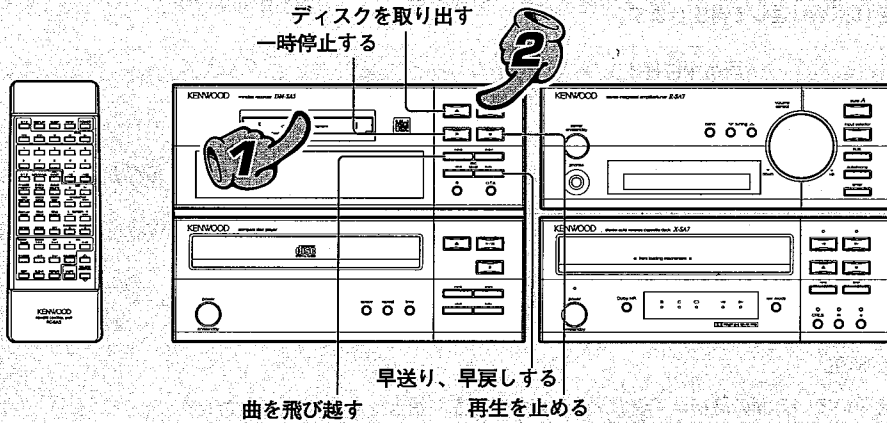


次のようなテープでは、DPSS機能が正常に動作しません。

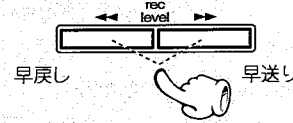
- 会話、落語などで音声で4秒くらい途切れるテープ
- クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が4秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲の最初が重なっていること)されたテープ

MDを聴く

KF-6000MD (J)

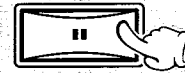


早送り、早戻りする



- キーを離した所から、再生が始まります。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- プログラムモード時、早戻しをして曲の最初になると、その曲を再生します。

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。(再生開始後1秒以内に押すと、前の曲の最初に戻ります。)

再生を止める

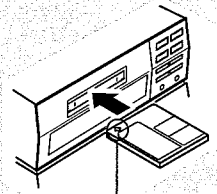


ミニディスクを取り出す



- ディスク挿入口に、ミニディスクが出てきます。

1. ミニディスクを入れる



矢印の方向に入れる

軽くミニディスクを差し込むと自動的にミニディスクが引き込まれます。

- ミニディスクや曲にタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

2. 再生をはじめる

1曲目から聴く場合

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。

曲を選ぶ場合

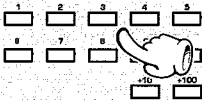
数字キーを押す順序は

23曲目なら
..... [+10] [+10] [3]

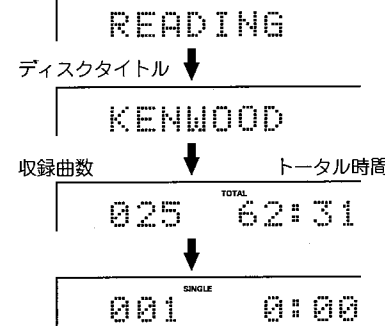
40曲目なら
.....
[+10] [+10] [+10] [+10] [0]

- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。
- "READING"の点滅中にミニディスクがない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

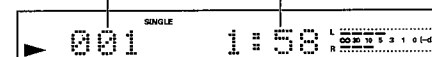
リモコン



表示が変わります



再生中のトラック番号 再生中の曲の経過時間



⚠ 注意

レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。



モノラル長時間録音されたミニディスクについて

本機は、モノラル長時間モードで録音されたディスクも再生できます。モノラル長時間モードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

KF-6000MD (J)

聴きたい曲をタイトルで探す (タイトルサーチ)

ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ登録しておくと、聴きたい曲をタイトルで探すことができます。 -52

① 停止状態にする

② "PGM"表示を消灯させる



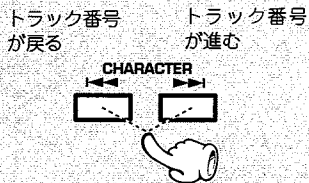
停止中に押す

③ TITLE SEARCHキーを押す

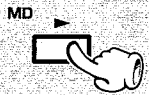


中止するときは、もう一度 TITLE SEARCHキーを押します

④ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ



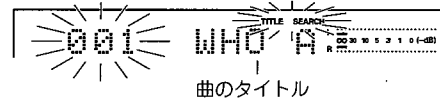
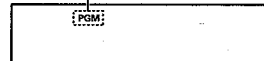
⑤ 再生を始める



●再生中はタイトルサーチはできません。

●"PGM"表示が点灯しているときは、リモコンMD操作部のP.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯させる

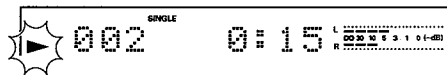


曲のタイトル

●タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"----"が表示されます。



再生される曲

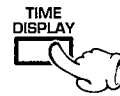


KF-6000MD (J)

KF-6000MD (J)

TIME DISPLAYキーについて

MDレコーダー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

再生中

- ① SINGLE(+): 再生中の曲の経過時間
- ② SINGLE(-): 再生中の曲の残り時間
- ③ REMAIN : ミニディスク全体の録音可能残り時間

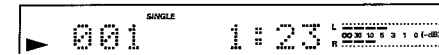
停止中

- ① SINGLE(+): 再生、録音中の曲の経過時間
- ② SINGLE(-): 再生中の曲の残り時間
- ③ REMAIN : ミニディスク全体の録音可能残り時間
- ④ TOTAL : ミニディスク全体の総録音時間

録音中

- ① SINGLE(+): 録音中の曲の経過時間
- ② REMAIN : ミニディスク全体の録音可能残り時間

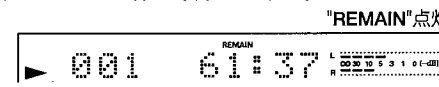
再生中の曲の経過時間



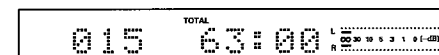
再生中の曲の残り時間



ミニディスク全体の録音可能残り時間



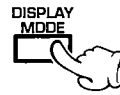
ミニディスク全体の総録音時間



●1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。
(ディスクタイトルがある場合、"NO TRACKS"と表示)

DISPLAY MODEキーについて

MDのタイトル表示(ディスク名、曲名)のタイプを切り換えることができます。

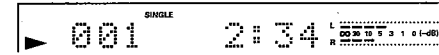


押すたびに切り換わります。

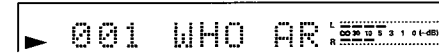
再生中、停止中

- ① 時間表示
- ② トラックタイトル表示
- ③ ミニディスクタイトル表示

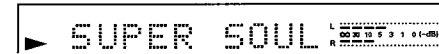
時間表示



トラックタイトル表示



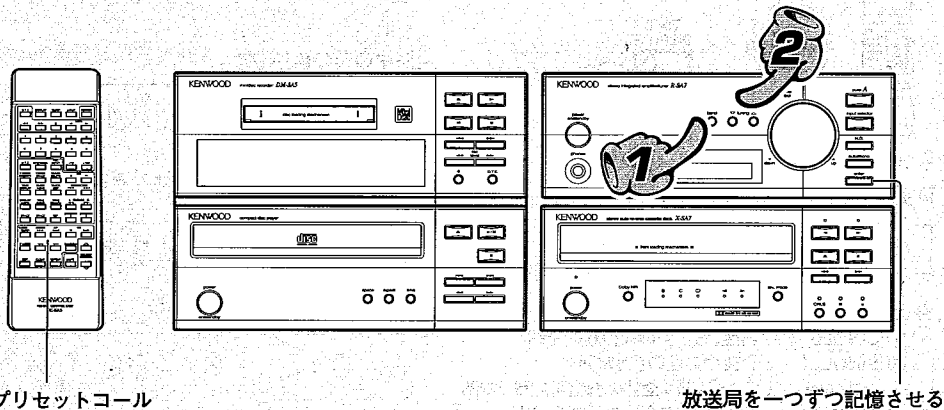
ディスクタイトル表示



●曲名(トラックタイトル)が登録されていない場合は、"-----"と表示し、ディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"NO TITLE"と表示します。

放送を聴く

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。AMステレオ放送にも対応しています。



1. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM



2. 放送局を選ぶ

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき : 押すたびに次の放送局を受信します。
 マニュアル選局のとき : 受信するまで繰り返し押す。または、押したままにする。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- ▶▶を押すと... 1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
- ◀◀を押すと... 40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....

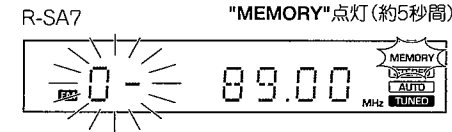
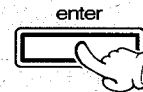
放送局を選ぶ



放送局を一つずつ記憶させる(プリセット)

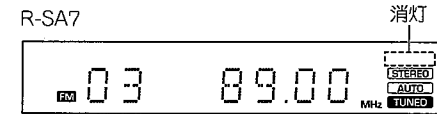
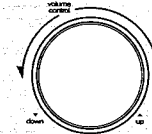
① 受信中に"enter"キーを押す

途中で5秒以上放置すると、プリセットは中止されます。

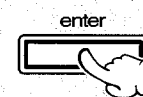


② 1~40の"プリセット番号"を選ぶ

途中で5秒以上放置すると、プリセットは中止されます。

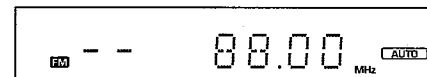


③ もう一度"enter"キーを押す



- プリセットを続けるときは、手順①、②、③を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

R-SA7



選局方法の切り換えについて



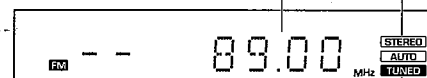
押すたびに切り換わります。

- ① "AUTO"点灯 (オート選局)
- ② 消灯 (マニュアル選局)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

● 通常はAUTO(オート選局)にしておきます。

R-SA7



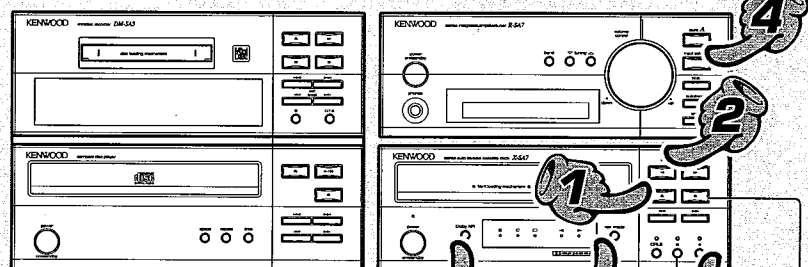
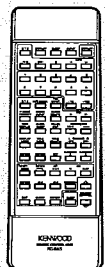
受信すると"TUNED"が点灯

- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンの数字キーで数字を入力しても、プリセットコールができます。入力の際に、10の桁を押し間違えた場合は、+10キーを数回押し、もとの表示に戻してから入力し直してください。



テープに録音する

本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。



録音を一時停止する
録音をおわるには

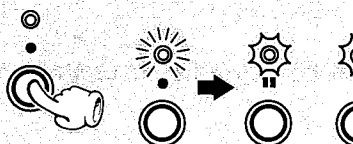
録音を一時停止する



● 録音を再開するときは、録音キーを押します。

録音を中断するには

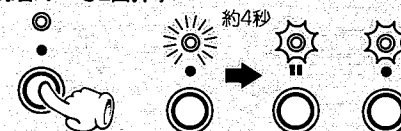
録音を中断した直後に約4秒間の無音部分をつくります。



● 約4秒後に録音ポーズ状態になります。

約4秒間の無音部分をつくる (オートレックミュート)

- 1 停止状態にする
- 2 録音キーを2回押す

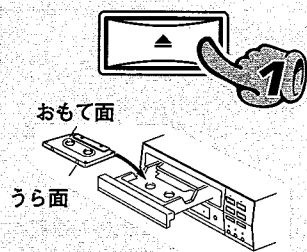


● 約4秒間の無音部分をつくり、録音ポーズ状態になります。

録音をおわるには



1. カセットデッキにテープを入れる



- 1 カセットデッキのトレイを開く
- 2 テープを入れる
- 3 トレイを閉める

- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種類は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

2. テープの進む向きを選ぶ

走行方向表示を確認する



走行方向を逆にしたい場合

- 1 再生したい方向の再生キーを押す
- 2 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

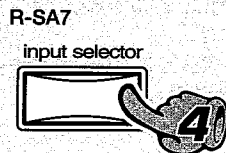
3. 録音条件を決める

Dolby NR rev. mode

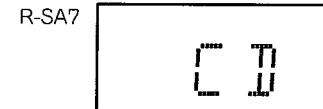


- 1 リバースモードを選ぶ → 23
- 2 ドルビー NRを選ぶ → 23

4. 何を録音するか選ぶ



TAPE以外を選んでください。



録音したい入力ソースの表示にします。

- CD、MDを選んだ場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので停止キーを押して止めてください。

5. 録音をスタートさせる

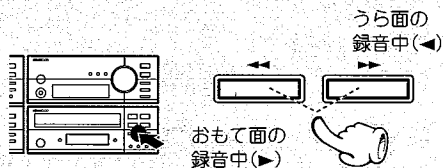
- 1 録音したい入力ソースを再生(受信)する
- 2 録音を始める



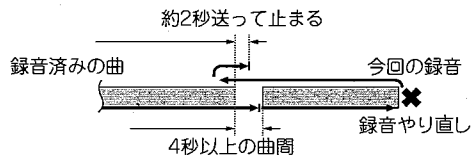
- CRLS機能を使用すると、録音レベルの自動調整ができます。 → 34
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

録音をやり直したいとき
録音開始位置に戻ります。

録音中に早戻しキーを押す



- 録音が中止され、テープは図のように巻き戻されます。(録音開始位置の手前に4秒以上の無音部分がある場合)



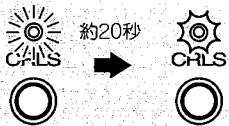
- 録音済みの曲が手前にない場合は、テープを巻き取って止まります。

録音レベルを自動調整する (CRLS)

カセットデッキ(X-SA7)には、標準的な録音レベルがあらかじめ設定されていますが、CRLS機能を使うと、音楽ソースに最適の録音レベルを自動的に設定します。

- 1 録音したい内容を再生する
(目的の放送局を受信する)

- 2 CRLSキーを押す



一度もキーを押さないと...

当社が設定した基本レベルで録音されます。

キーを押すと...

録音レベルを自動設定し、そのとき選んでいた入力の録音レベルとして記憶します。次からはキーを押さなくても同じレベルで録音できます。

基本レベルに戻すには...

インジケータが消えるまで(約3秒間)キーを押したままにしてください。

- 約20秒で録音レベルの設定が終了し、録音ポーズ状態になります。
- 設定中(点滅中)に録音を始めると、ひずんだ音が録音される場合があります。
- CRLSキーを押したときから3秒以上無音が続くと、録音レベルの設定は中止されます。

CDまたはMDから録音するときのポイント

CD,MDを録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておく、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。



- 1 再生するCDまたはMDを一時停止にする
 - 2 録音したい曲をスキップキー(◀◀ ▶▶)で選ぶ
(選んだ曲の最初で一時停止になります。)
 - 3 カセットデッキを録音ポーズ状態にする
 - 4 CDまたはMDの再生を始める
(シンクロ録音が始まります。)
- 再生機器の停止キーを押すと、録音を中止します。

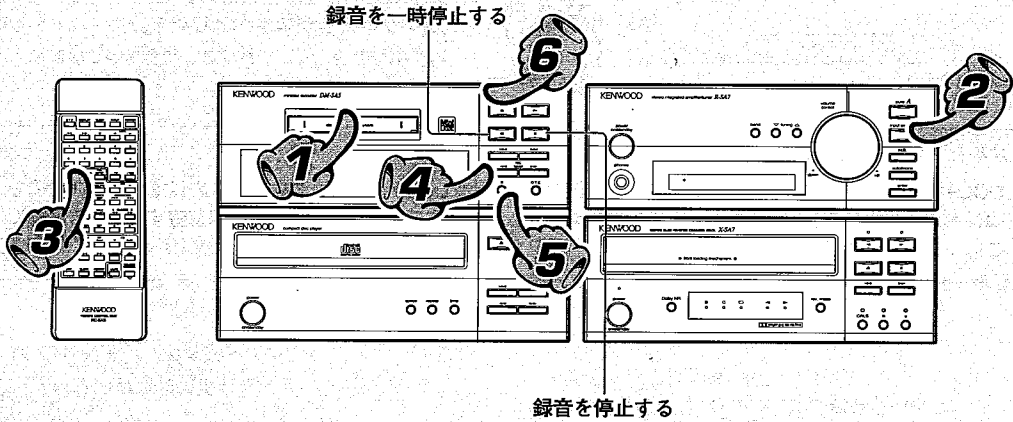
ドルビー-HX Proとは

DOLBY HX Pro headroom extensionとは、録音中に、録音している音の周波数成分に応じてバイアス電流をコントロールすることで、シンバルなどの高音域を美しく録音するシステムです。本機で録音すると、自動的にこのシステムが働きます。

MDに録音する

本機では、モノラル長時間モードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、テープなどのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



録音を一時停止する



- このとき、トラック番号は"1"線り上がります。再び録音を始めるときは、もう一度押します。
- 録音キー(●)を押しても録音を始めることができます。

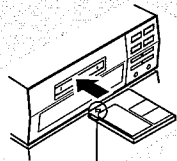
録音を停止する



ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている
→ 不要な曲を消す。 - [64]
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている
→ 閉める。 - [76]
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである
→ 録音用ミニディスクを入れる - [77]



矢印の方向に入れる

1. 録音の準備をする

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする - [76]
- ② ミニディスクを入れる
- ③ 録音可能時間を確かめる - [29]



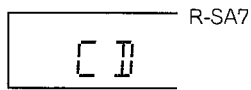
input selector



MD以外を選んでください

2. 何を録音するか選ぶ

録音したい入力ソースの表示にします



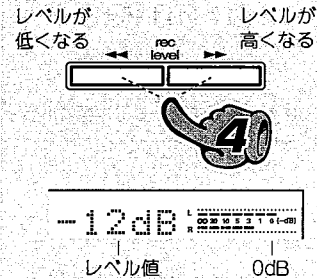
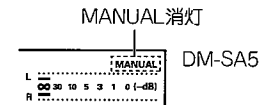
- 入力切換によって"デジタル録音"と"アナログ録音"が自動的に選ばれます。
- すでにディスクやテープが入っているときは、再生が始まりますのでSTOPキーを押して止めてください。

CDの録音(デジタル録音)のときは手順5へ

"CDをアナログ録音したいとき" - [39]

3. 曲番号の付けかたを選ぶ (アナログ録音のみ)

通常はAUTO (MANUAL消灯) におきます。
"AUTO/MANUALキーの使いかた" - [38]



4. 録音レベルを調節する (アナログ録音のみ)

- ① 録音する音楽ソースを再生する
 - ② 録音(●)キーを押した後、一時停止(II)キーを押す
 - ③ 録音レベルを調節する
- レベルメーターの0dBが、ときどき点灯するように調節します。
 - レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。
 - リモコンの◀、▶キーでは、操作できません。

5. 録音をはじめる

- ① 録音(●)キーを押す
 - ② 録音する音楽ソースを再生する
- 録音中はイジェクトキーは受け付けません。
 - CDの再生と同時に録音を始めるときは、"CDから録音するときのポイント"をお読みください。 - [39]

6. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

オート マニュアル AUTO/MANUALキーの使いかた

アナログ録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを切り換えます。

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

AUTO:

録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除します。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。

MANUAL:

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中または録音後、トラック番号を付けることができます。

ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

録音を始める前に選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① 消灯(AUTO)
- ② MANUAL

"AUTO"時消灯、"MANUAL"時点灯



"DIGITAL"消灯



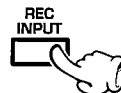
●録音中にTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

1. CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す(TRACK ERASE)または全曲消す(ALL ERASE)"を参照して削除してください。
2. AUTOモードで、一曲が極端に短いと、トラック番号が正確に繰り上がらない場合があります。

レック インプット

REC INPUT キーの使いかた

入力切換がCDのときは、録音入力モードが自動的にデジタルモードになり、録音レベルの調整をする必要がありません。録音するCDの入力レベルが適当でない(大きすぎる、または小さすぎる)とき、録音入力モードをアナログにすると、アナログ録音モードになり、録音レベルを調節することができます。



押すたびに切り換わります。

- ① DIGITAL :デジタル録音入力モード
- ② 消灯 :アナログ録音入力モード

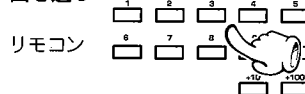
"DIGITAL"消灯



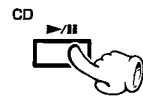
CDから録音するときのポイント

次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

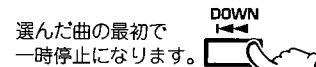
① 録音したい曲を選ぶ



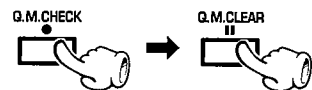
② CDを一時停止にする



③ CDプレーヤーの<<<キーを1回押す



④ MDレコーダーを録音一時停止にする



⑤ CDの再生を始める



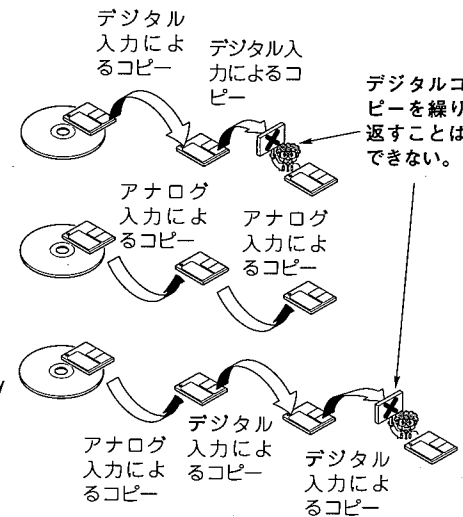
デジタル録音とSCMSについて

ミニディスクでは全てのソースに対してデジタル録音することはできません。次の場合は、デジタル録音できませんので注意してください。

コピー禁止コードが付いているとき。(シリアルコピーマネージメントシステム...SCMS)

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

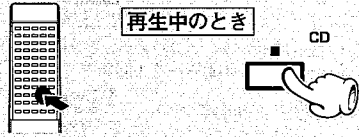


曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

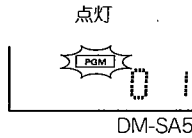
トレイに入れたディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

入力切換を"CD"にする

1 停止状態を確認する

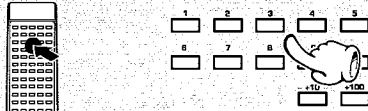


2 "PGM"表示を点灯させる

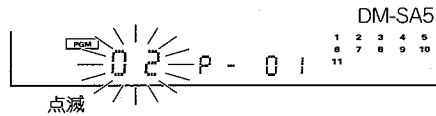


3 聴きたい順に曲を選ぶ

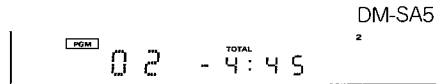
① 曲番号を選ぶ



② 確定する



③ 手順①、②を繰り返す



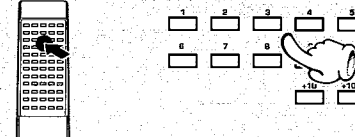
4 再生する



- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

① 追加したい曲番号を選ぶ



② P.MODEキーを押す

- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには



- キーを押す度に、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- 再生中の曲は取り消せません。

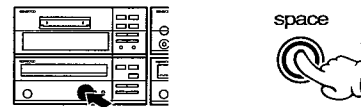
プログラムを解除するには



- 再生中は、そのとき聴いている曲から曲番号順の再生に戻ります。
- オープンクローズキーを押しても解除します。

スペース機能について

曲順のプログラム中に"space"キーを押すと、曲間に数秒間の無音部分が作られます(SPACEインジケータ点灯)。この状態でカセットに録音すれば、DPSS機能(無音部分を探す)を使って、テープの頭出しやリピート再生などが確実に行なえます。



- 前曲と次曲の演奏がつながっている場合でも(クラシックやライブ収録など)、別々の曲番号がついていれば無録音部分が作られます。
- 解除するときは、もう一度"space"キーを押してください。

繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切換を"CD"にする

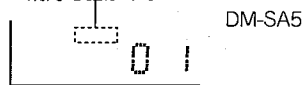
ディスク全体を繰り返し聴く

① "PGM"表示の消灯を確かめる



"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

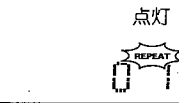


DM-SA5

② "REPEAT"表示を点灯させる



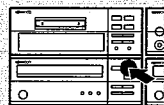
repeat



点灯

DM-SA5

③ 再生する



繰り返し再生をやめるには

もう一度"repeat"キーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。



選んだ曲だけを繰り返し聴く

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする

→ 40

② "REPEAT"表示を点灯させる

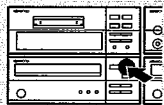


repeat



DM-SA5

③ 再生する



繰り返し再生をやめるには

もう一度"repeat"キーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

予期しない曲順を楽しむ (ランダム再生)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切換を"CD"にする

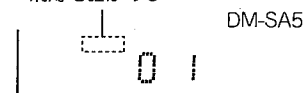
1 "PGM"表示の消灯を確かめる



"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。



消灯を確かめる



DM-SA5

2 RANDOMキーを押す



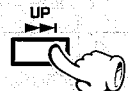
DM-SA5



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- "repeat"キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。



曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには



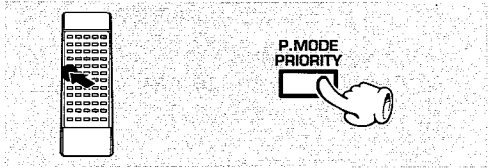
- 再生中の曲から曲番順の再生になります。

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大25曲)

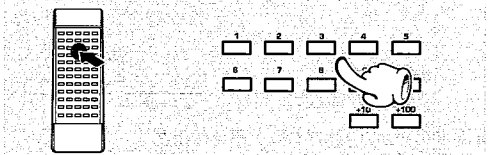
入力切換を"MD"にして、停止状態にします。

1 プログラム "PGM"表示を点灯させる

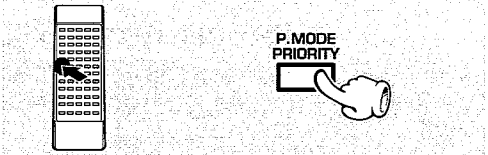


2 聴きたい順に曲を選ぶ

① 聴きたい曲番号を選ぶ

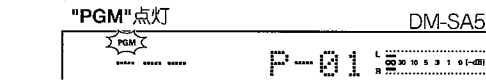
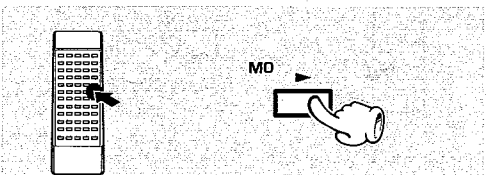


② 確定する



手順①と②を繰り返して、希望の曲順に並べます。

3 再生する

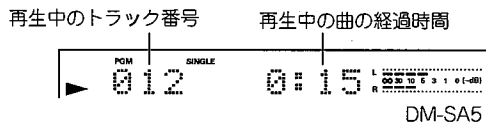


数字キーを押す順序は...
トラック番号12を選ぶとき: [+10] [2]、P.MODE キーの順に押す。



- 25曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押してから、選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が200分以上になると、表示が"--:--"になります。

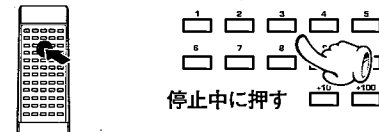
- 表示点滅中にP.MODEキーを押さないと入力が中止されます。



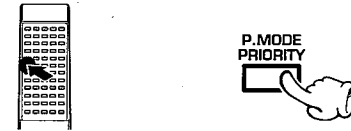
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには

① 追加したい曲番号を選ぶ



② P.MODEキーを押す



曲順を確かめるには



プログラムした曲を取り消すには



プログラムを解除するには

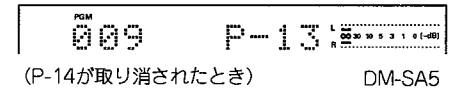


- 追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にP.MODEキーを押さないと入力が中止されます。

- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

取り消された後の、最後のプログラムを表示



(P-14が取り消されたとき)

- プログラムの内容が、全部消えます。
- イジェクトキーを押しても解除します。

繰り返し聴く(リピート再生)

入力切換を"MD"にする

選んだ曲だけを繰り返すには

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする

- 44

- ② "REPEAT"表示を点灯させる



- ③ 再生する



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。



繰り返し再生をやめるには

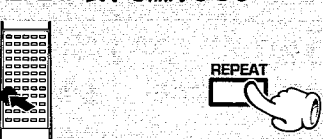
- もう一度、REPEATキーを押します。
- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(PGM)に合った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

- ① "PGM"表示を消灯させる



- ② "REPEAT"表示を点灯させる



- ③ 再生する



繰り返し再生をやめるには

- もう一度、REPEATキーを押します。
- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(トラック)に合った再生に戻ります。

録音のタイプを選ぶ

本機では、目的に合わせて次のような編集録音ができます。

どんな方法で録音しますか？

おすすめの録音タイプ

一枚のCDまたはMDをまるごと録音したい

一枚のCDまたはMDをワンタッチで録音する
(ワンタッチエディット全曲録音)

CDまたはMDの停止状態でO.T.E.(ONE TOUCH EDIT)キーを押すと、ワンタッチでディスクの録音を開始します。

→ 48

CDやMDを聴きながら録音したい曲を選びたい

いい曲があれば、その曲だけ録音する
(ワンタッチエディット1曲録音)

CDまたはMDを聴いていて、録音したい曲が出てきたら、O.T.E.(ONE TOUCH EDIT)キーを押してください。その曲の頭から録音が始まります。

→ 49

CDの録音で、テープの終わりで曲が途切れるのは絶対にいやだ

テープの長さに応じて曲順を入れ替える
(タイム編集録音)

テープの長さをセットするだけの簡単な操作でCDを編集録音する方法です。(CD→TAPEのみ)

→ 50

便利な機能

本機には2系統の録音/再生回路があります。

- ① CD→MDの録音(デジタル録音).....デジタル信号系
- ② CD以外→テープの録音(アナログ録音)...アナログ信号系

このため、CDをMDに録音しながら、他のソースを聴いたり、テープへ録音することができます(デジタル/アナログ独立録音機能)。(ワンタッチエディット全曲録音のみ)

1枚のCD、MDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)

CD(1枚)またはMDの全曲を、ワンタッチで録音できます。

CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープへ録音します。



CDプレーヤー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

曲順をプログラムしておけば、プログラム順に録音されます。
- [40] - [44]



テープ
CD→TAPEのとき



MD→TAPEのとき



CD→MDのとき

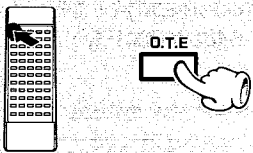
1 録音の準備をする

- ① "録音のしかた"の手順1~4までを行なう - [32]
(リバースモードは"⌂"(両面録音)を選ぶ)
- ② INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

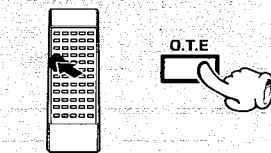
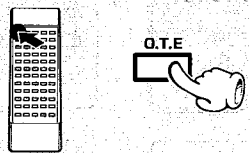
- ① "録音のしかた"の手順1~4までを行なう - [32]
(リバースモードは"⌂"(両面録音)を選ぶ)
- ② INPUTキーで"MD"を選ぶ
- ③ MDレコーダーにディスクを入れる

- ① MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる - [36]
- ② INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 録音を始める



CRLS機能を使うと、最適な録音レベルを自動設定できます。
- [34]



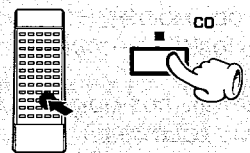
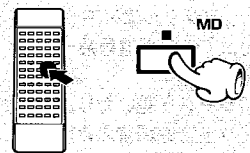
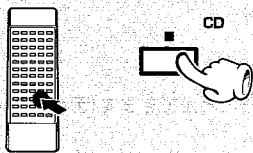
TAPE録音用のO.T.E.キーと、MD録音用のO.T.E.キーがあります。間違えないようにご注意ください。

- テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのぶんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、他の録音方法をご利用ください。

- CD→MDの録音の場合、(ワンタッチエディット全曲録音)録音中でも放送やテープの再生、録音ができます。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。



いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)

CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。



テープ
CD→TAPEのとき



MD→TAPEのとき



CD→MDのとき

1 録音の準備をする

"録音のしかた"の手順1~4までを行なう - [32]

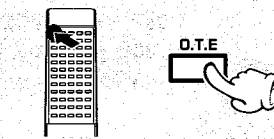
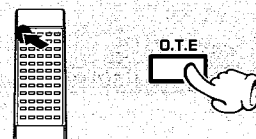
"録音のしかた"の手順1~4までを行なう - [32]

MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる - [36]

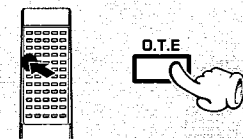
2 CDまたはMDを再生する

3 録音したい曲の再生中に、O.T.E.キーを押す

再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。



CRLS機能を使うと、最適な録音レベルを自動設定できます。
- [34]



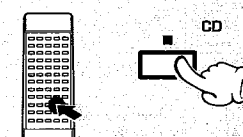
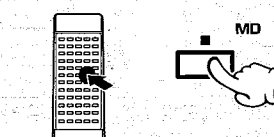
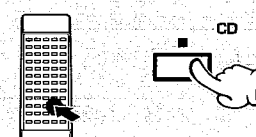
TAPE録音用のO.T.E.キーと、MD録音用のO.T.E.キーがあります。間違えないようにご注意ください。

録音が終了すると.....

録音側の機器：カセットデッキは約4秒の無録音部分を作ってから停止します。MDレコーダーは停止します。
再生側の機器：一時停止になります。
他の曲を録音するには.....手順 ④, ⑤ を繰り返してください。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。



テープの長さに応じて曲順を入れ替える (タイム編集録音) (CD→TAPEのみ)

テープの録音時間を指定すると、テープの折り返しや
 終端で曲が途切れないように、自動的に曲順を入れ替
 えて録音します。

録音の準備が必要です。→32(手順1~4)(リバースモードは"00"(両面録音)を選びます。)

1 "EDIT"の表示を点灯させる

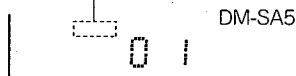
① "PGM"表示の消灯を確かめる
 "PGM"表示が点灯しているときは、P.MODE
 キーを押して消灯させてください。

② EDITキーを押す

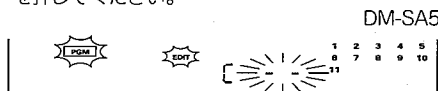


8秒以上放置すると、編集は中止されます。

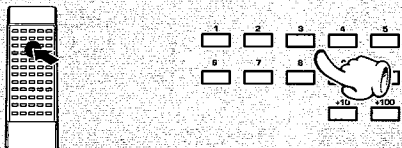
消灯を確かめる



● "EDIT"モードを解除するときは、リモコンのP.MODE
 キーを押してください。



2 テープの長さをセットする

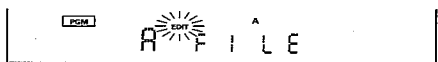


"time"キーを繰り返し押すと、46、
 54、60、90分テープを簡単に選べま
 す。選んだ後は、EDITキーを押して、
 手順③へ移ります。

"EDIT"表示の点滅が点灯になったことを確かめて
 から、手順③へ。

数字キーを押す順序は:

30分テープなら [+10] [+10] [+10] [0]
 46分テープなら [+10] [+10] [+10] [+10] [6]



- 時間の入力をまちがえたときは、"EDIT"表示の点灯を確認して、手順③からやり直してください。
- 32曲まで編集できます。
- 自動編集が終了すると、"EDIT"表示が点灯します。
- >>> キーを押すたびに、編集された曲番号が順に表示されます。■ キーを押すと、最初の曲の曲番号に戻ります。

3 編集録音をスタートする



● 録音が終了すると、自動的に停止します。

CDの内容(曲数や曲の長さ)とテープの録音時間など、条件の組み合わせにより、曲順を入れ換えても音の途切れが避けられない場合、その曲は録音されません。

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の
 編集を行なうことができます。再生専用の一般市販ソ
 フトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つま
 みを"録音可能"側にしてください。→76

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限がありま
 す。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませ
 よう、お願いいたします。→39-77-80-81

ミニディスクや曲にタイトルをつける →52

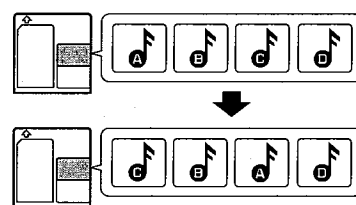
タイトルを変更、消去する →54

英数字に加えてカタカナの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。

(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

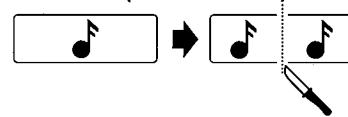
曲順の入れ換え

曲順をまとめて入れ換える (QUICK MOVE) →56
 曲順を1曲ずつ入れ換える (TRACK MOVE) →58



曲の分割と結合

曲を分ける (TRACK DIVIDE) →60

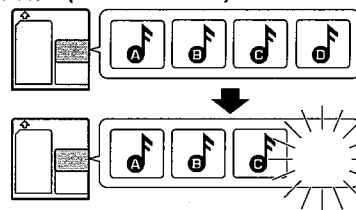


曲をつなぐ (TRACK COMBINE) →62

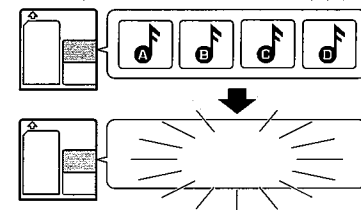


曲の消去

1曲消す (TRACK ERASE) →64



全曲消す (ALL ERASE) →65

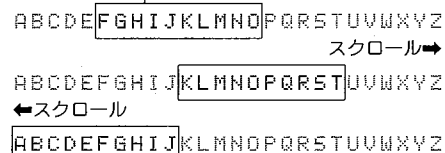


表示部のスクロールについて

タイトルを入力しているなど、情報の量が多すぎて表
 示部に入りきらないことがあります。このようなとき
 は、CURSOR(←、→)キーを続けて操作していく
 と、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで
 見えなかった内容が現われます。このような表示の動
 きを「スクロール」といいます。

スクロールの例

表示される範囲(全体を表示できない)



ミニディスクや曲にタイトルを付ける

ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

停止状態、または再生にします。

1 タイトル入力状態にする

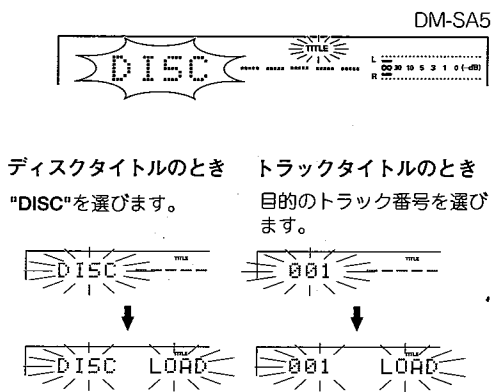
タイトル インプット

① TITLE INPUTキーを押す

② ディスクタイトルか曲名かを選ぶ

③ 確定する

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。



- 再生中は、そのトラック番号のタイトル入力だけできます。このとき、再生モードは、一曲リピートモードになります。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

2 タイトルを入力する

① 文字グループを選ぶ

次ページに続く

プライオリティ

PRIORITYキーを押すたびに切り換わります。

- ① A~Z と、スペース(1文字分の空白)
- ② a~z と、スペース
- ③ 0~9 と、各種記号
- ④ カタカナと、スペース

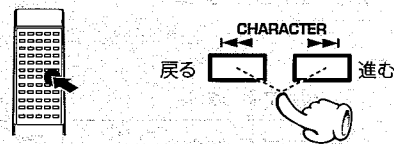
各種記号(ASCIIコード)の選択について 次の各種記号を選ぶことができます。
!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@_`

●CURSOR(◀▶)キーで、カーソルを左右に移動できます。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。→66

② 文字を選ぶ



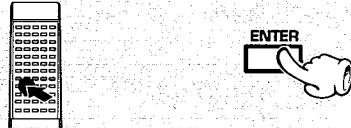
③ 文字を確定する



手順①~③を繰り返して、タイトルを入力します。

3 タイトル入力を実行する

① タイトルを書き込む



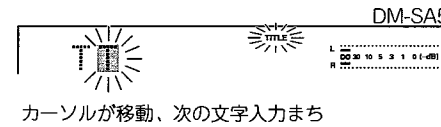
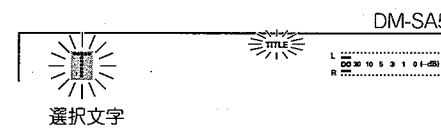
② 終了する



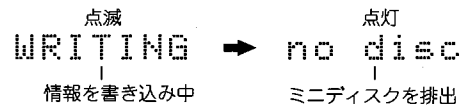
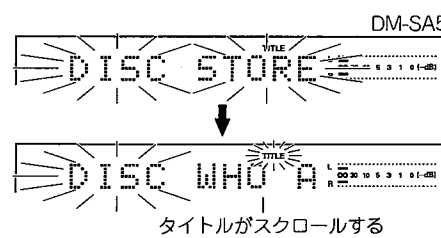
4 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



カーソルについて
カーソル部にすでに文字があるときは"█"表示、文字が無いときは"□"表示の点滅になります。



- DISPLAY MODEキーを押すと、5文字単位で文字を送ることができます。



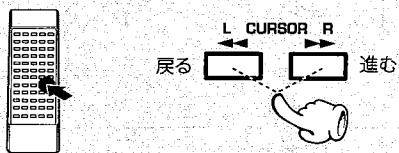
タイトルを変更、消去する

1 "ミニディスクや曲にタイトルを付ける"の、手順 1 を行なう

- 52

2 1文字ずつ変更または消去していく

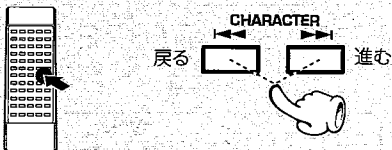
① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



② 文字グループを選ぶ



③ 正しい文字を選ぶ



④ 文字を確定する



手順①～④の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

次ページに続く



- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、CURSOR(◀▶▶▶)キーを押していきと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現われます。

プライオリティーキーを押すたびに切り換わります。

- ① A～Z と、スペース(1文字分の空白)
- ② a～z と、スペース
- ③ 0～9 と、各種記号
- ④ カタカナと、スペース

- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。



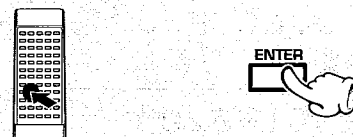
正しい文字を選択



カーソルが移動

3 タイトルの変更、消去を実行する

① タイトルを書き込む

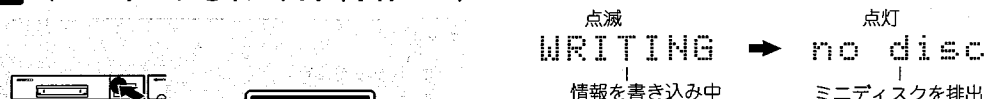


② 終了する



タイトルがスクロールする

4 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



点滅 WRITING → 点灯 no disc
情報を書き込み中 ミニディスクを排出

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

キー機能について

ディスプレイモードキー：

5文字単位で文字を送ることができます。

プライオリティーキー：

文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

CLEAR/DELETEキー：

カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または 押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。

CHECK/SPACEキー：

カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん 後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)こともできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

曲順をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

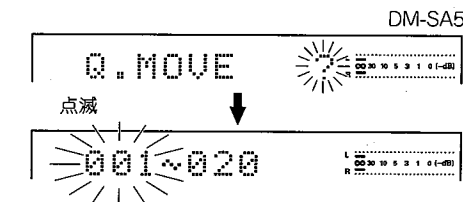
1回の処理で入れ換えられるのは、連続する20曲の範囲です。

停止状態にします。

1 QUICK MOVEモードを設定する

1 QUICK MOVEキーを押す

2 確定する

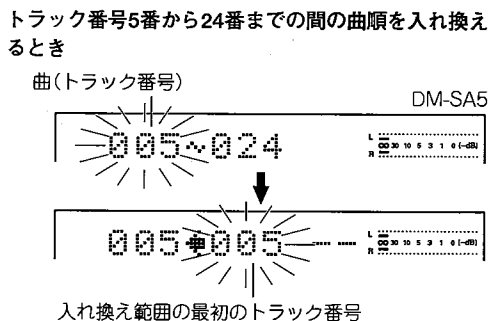


- 中止するときは、もう一度"QUICK MOVE"キーを押します。
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 入れ換える範囲を決める

1 入れ換え範囲の最初の曲を選ぶ

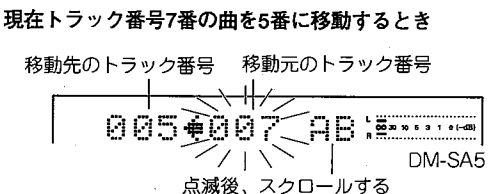
2 入れ換え範囲を確定する



3 希望の曲順に並べ換える

1 曲(トラック番号)を選ぶ

次ページに続く



2 確定する

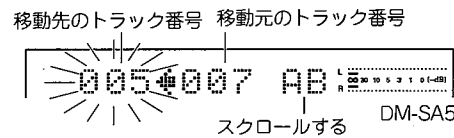
手順1と2を繰り返して、希望の曲順に並べます。

4 曲順の入れ換えを実行する

5 ミニディスクを取り出す(本体のみ)

- Q.M./CLEAR キーを押すと、最後から順に1曲ずつ取消しができます。
- Q.M./CHECK キーで、選んだ曲順の確認ができます。

確認中の例(トラック番号7番が5番に移動している表示)

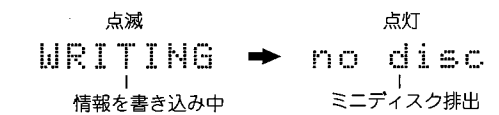


実行後の表示

編集完了のとき : COMPLETE! と表示

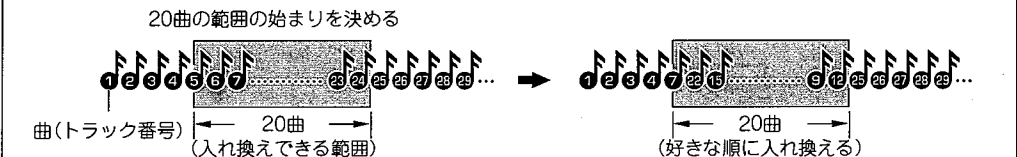
編集不完全のとき : CAN'T EDIT と表示

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ換えの途中でENTERキーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE !"点灯中にイジェクト(▲)キーや、"power"キーを押すと、並べ換えが途中で中断されることがあります。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順の入れ換えイメージ



曲順を1曲ずつ入れ換える (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

停止状態にします。

1 "MOVE"を選ぶ

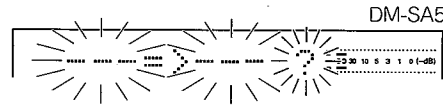
① "MOVE"を選ぶ



押すたびに切り換わります。

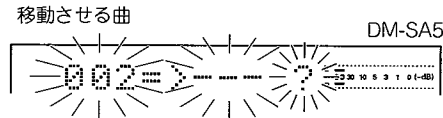
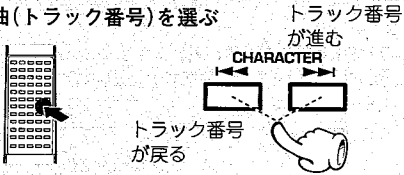
- ① MOVE? :曲順を1曲ずつ入れ換える
- ② COMBINE? :曲をつなぐ
- ③ ALL ERASE?:全曲消去
- ④ 編集解除

途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 移動する曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

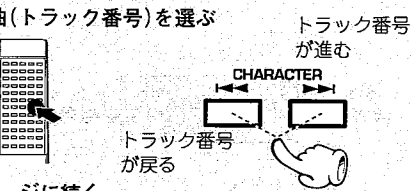


② 確定する

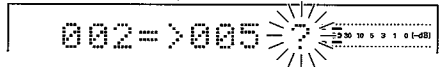


3 移動先を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ



次ページに続く



② 確定する

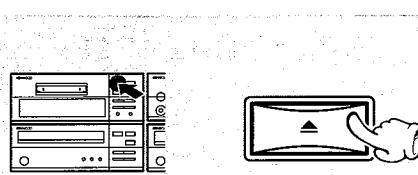


4 曲順の入れ換えを実行する



実行後の表示
 編集完了のとき : COMPLETE ! と表示
コンプリート
キャンセル エディット
 編集不完全のとき : CAN'T EDIT と表示

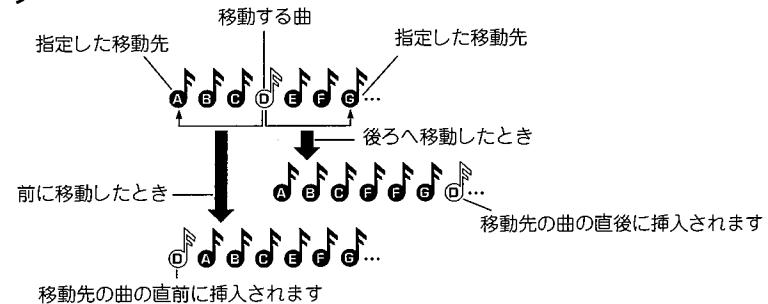
5 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



点滅 WRITING → 点灯 no disc
情報を書き込み中 ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を移動するイメージ



トラック ディバイド

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

1 分割したい曲を再生する

- 録音中に、**TRACK EDIT**キーを押すことにより、編集できます。
- 再生中、一時停止中でも編集できます。

2 希望の所で**TRACK EDIT**キーを押す

① "DIVIDE"を選ぶ



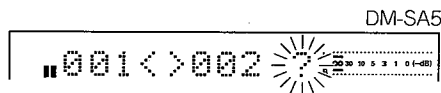
② 確定する



押すたびに切り換わります。

- ① **DIVIDE ?** : 曲を分ける
- ② **COMBINE ?** : 曲をつなぐ
- ③ **ERASE ?** : 1曲消去
- ④ **編集解除**

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



3 曲の分割を実行する



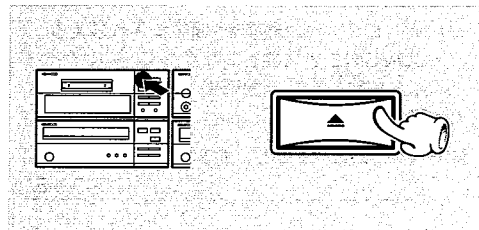
実行後の表示

編集完了のとき : **COMPLETE !** と表示
 編集不完全のとき : **CAN'T EDIT** と表示

- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から再生が始まります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割する曲にタイトルが付けられているときは、2つの曲が同じタイトル名になります。

手順①~③を繰り返して、最大254までトラック番号を追加できます。

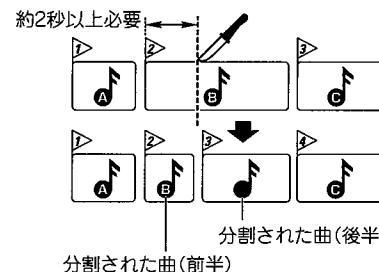
4 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



点滅
WRITING → 点灯
no disc
 情報を書き込み中 ミニディスク排出

"**WRITING**"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ



トラック コンバイン

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

1 TRACK EDITキーを押す

① "COMBINE"を選ぶ



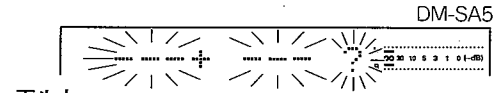
② 確定する



押すたびに切り換わります。
停止中

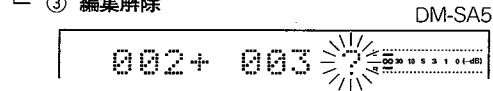
- ① MOVE ? : 曲順を1曲ずつ入れ換える
- ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ② ALL ERASE ? : 全曲消去
- ③ 編集解除

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



再生中

- ① DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ② ERASE ? : 1曲消去
- ③ 編集解除

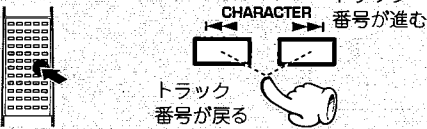


- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。(再生中の曲と、直前の曲につながります)
- 最初の曲の再生中では"COMBINE"を選べません。
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

再生中に曲をつなぐ場合は、手順 ②へ

2 つなぎたい曲を選ぶ

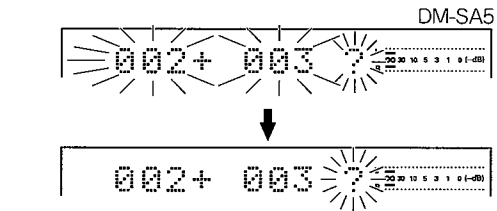
① 曲(トラック番号)を選ぶ



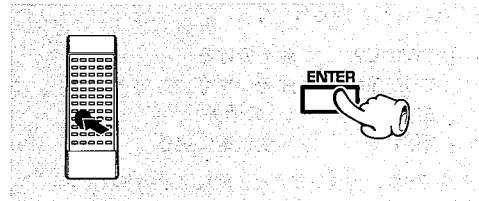
② 確定する



2曲目と3曲目をつなぐ場合



3 曲と曲の結合を実行する

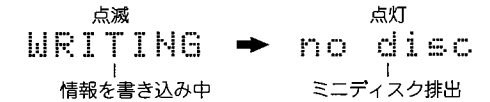
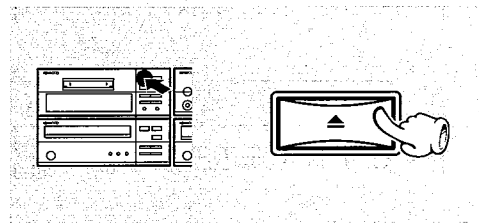


実行後の表示

編集完了のとき : COMPLETE ! と表示
編集不完全のとき : CAN'T EDIT と表示

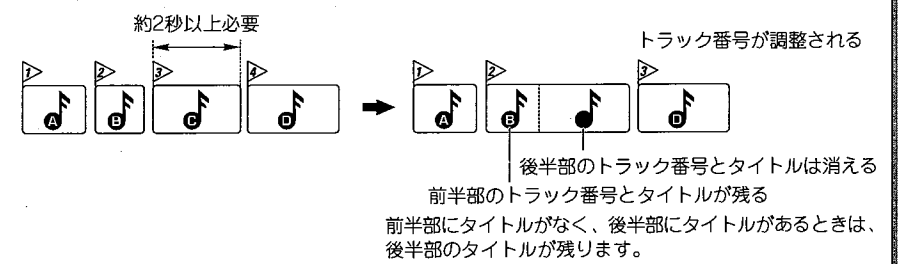
- 再生中に編集を始めた場合は、その曲から自動的に再生が始まります。
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。

4 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ



トラック イレース

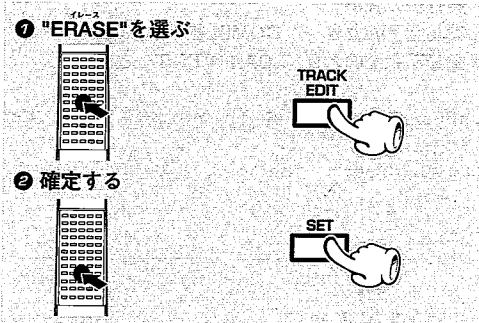
1曲消す (TRACK ERASE)

再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調整されます。

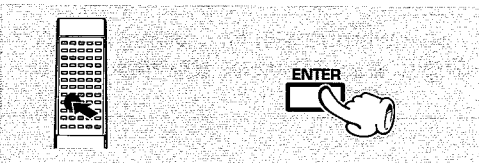
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

再生状態にします。

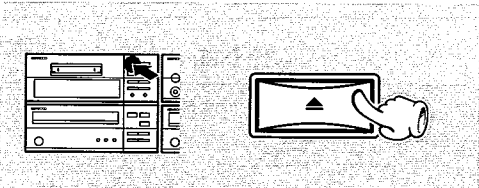
1 イレース "ERASE" を選ぶ



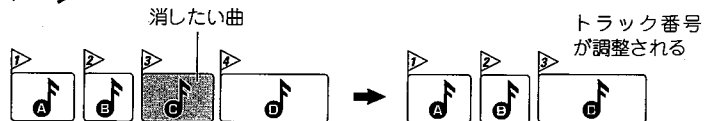
2 消去を実行する



3 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



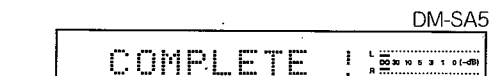
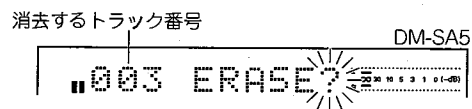
消したい曲のイメージ



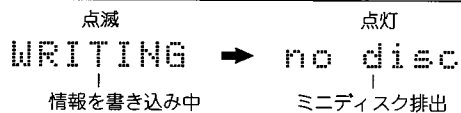
押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE? : 曲を分ける
- ② COMBINE? : 曲をつなぐ
- ③ ERASE? : 1曲の消去
- ④ 解除 : 再生状態に戻る

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



- 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 消去した直後の曲から再生が始まります。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

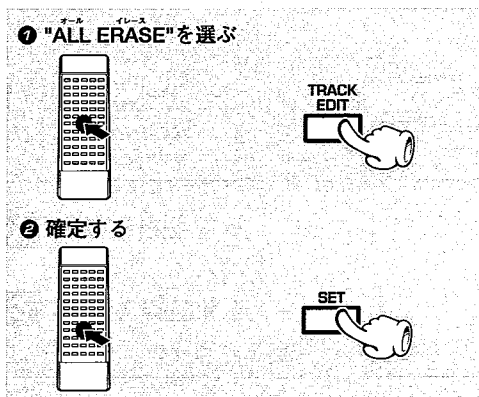
オール イレース

全曲消す (ALL ERASE)

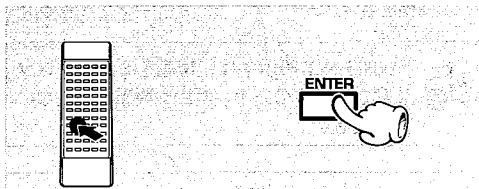
停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

停止状態にします。

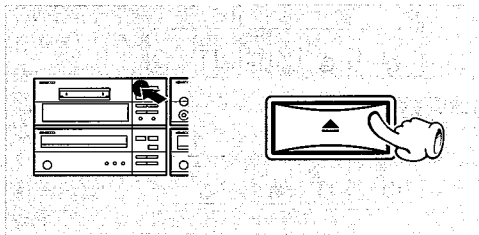
1 オール イレース "ALL ERASE" を選ぶ



2 消去を実行する



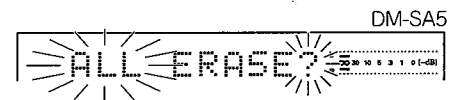
3 ミニディスクを取り出す(本体のみ)



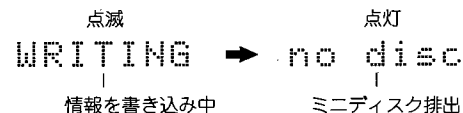
押すたびに切り換わります。

- ① MOVE? : 曲順を1曲ずつ入れ換える
- ② COMBINE? : 曲をつなぐ
- ③ ALL ERASE? : 全曲の消去
- ④ 解除 : 停止状態に戻る

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



●全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲の一部を消す

曲を分ける(TRACK DIVIDE)機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にし、1曲消す(TRACK ERASE)機能で消去します。

消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

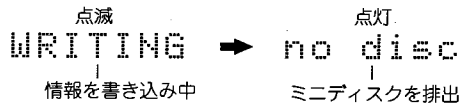
1 消したい部分を1つの曲にする

"曲を分ける(TRACK DIVIDE)"機能を使って、消したい部分だけで1つの曲になるように、編集してください。 - [60]

2 消したい部分を消去する

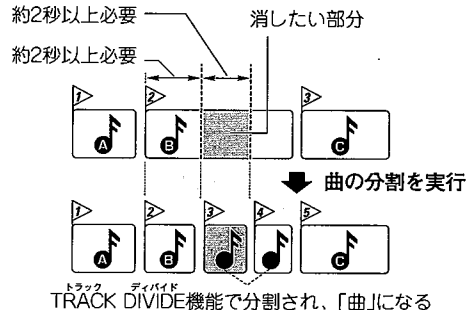
手順1で作った「曲」(消したいところ)を、"1曲消す(TRACK ERASE)"機能を使って、消去してください。 - [64]

3 ミニディスクを取り出す(本体のみ)

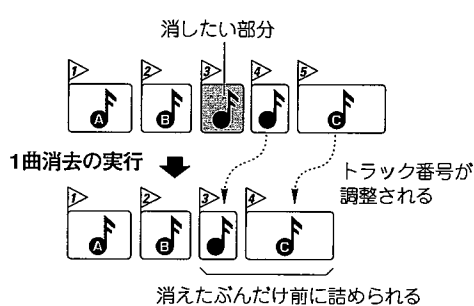


"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を分ける(TRACK DIVIDE) - [60]



1曲消す(TRACK ERASE) - [64]



ピュアAモードで聴く

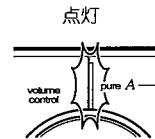
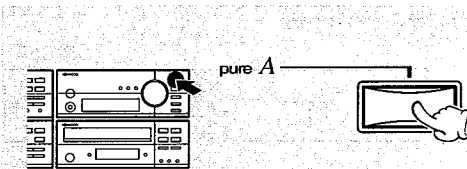
セットのそばで聴くときや、夜間など小音量で聴くときは、純A級動作モード(ピュアA)にすることをおすすめします。ひずみが少なく、滑らかな高音質をお楽しみいただけます。

大きめの音量で聴くときは、通常モードでお楽しみください。

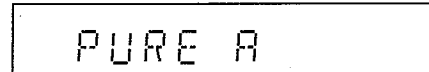
注意

ピュアAモードのときは、音楽ソースを再生していないときにも常に一定の電力が消費されているので、アンプ部の温度が高くなります。

1 ピュアAをオンにする

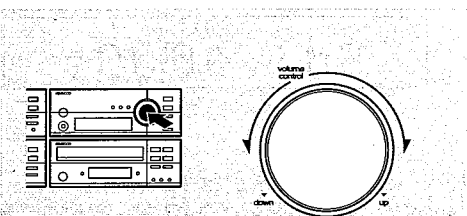


R-SA7

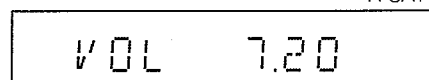


2 音楽を再生する

3 音量を調節する



R-SA7



音量の表示

- 小音量にあわせた音量表示に変わります。
- ピュアAモードのときにもう一度押し、通常モードになります。(ピュアAインジケータ-消灯)

ピュアAとは

アンプ部は、CDなどから入ってくる音の信号の電圧と電流を増幅し、スピーカーに送るはたらきをしています。この電流を増幅するときに発生するひずみを抑えるため、A級動作またはAB級動作と呼ばれるアンプでは、電流を増幅する回路部に常に電流が流れています。これをアイドル電流といいます。特にA級動作アンプでは、多くの機器で採用されているAB級動作アンプに比べて多くのアイドル電流が流れています。この結果、A級動作の特性として、ひずみは最小限に抑えられ、なめらかな高音質の再生が可能になります。しかし一方では、音楽ソースを再生していないときにも、常に一定の電力が消費されているので、アンプ部の温度が比較的高くなります。このためA級動作の音質を楽しむには、大容量の電源を持つ高級アンプが必要でした。本機は通常モードではAB級動作アンプですが、手軽にA級動作アンプの高音質をお楽しみいただくために、小音量で聴くときに使用できるA級動作モード(ピュアA)を用意しました。セットのそばで聴くときや夜間など、小音量で聴くときは、ぜひピュアAの音質をお楽しみください。

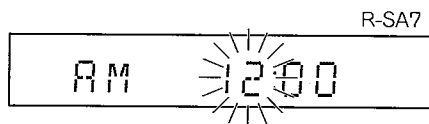
ACコードをコンセントに接続すると、時計表示が点滅します。説明に従って正確な時刻を合わせてください。

電源がオフになっていることを確認してください。

1 時刻合わせモードにする

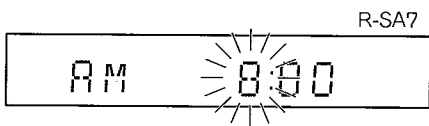
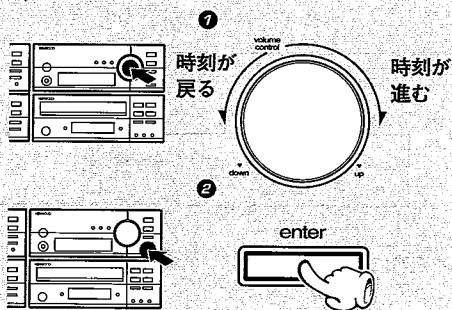


8時45分に合わせる例



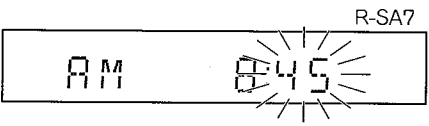
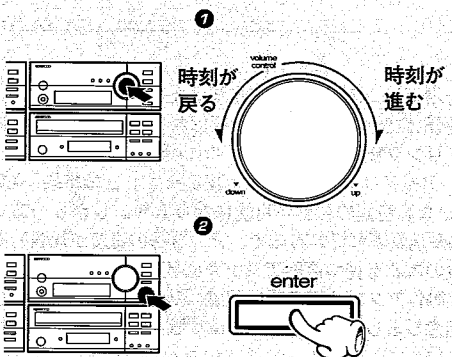
● 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる



● 時刻は12時間表示で表示されます。
● "enter"キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる



● 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
● 時報と同時に"enter"キーを押すと正確な時刻表示ができます。
● 停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。

オペレートイージートゥーユーズタイマー(O.T.T.)

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフになります。設定直後の1回だけ働きます。おやすみタイマー

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

AI タイマー再生

音量がだんだん大きくなり、前もって設定してあった音量(VOLUME CONTROLつまみで設定した音量)まで上がります。最大音量は自由に設定できます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。

オペレートイージートゥーユーズタイマー (Operate easy To use Timer : O.T.T.)

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

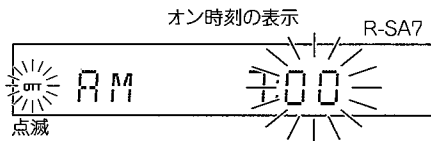
- 1 聴きたいソースを選び、音量を設定する
- 2 電源をオフにする
- 3 tuning(▽)キーを押す



O.T.T.タイマーで再生されている間は、プログラムタイマーは働きません。

● tuning(▽)キーを押すと、入力ソースの表示になり、数秒後にオン時刻の表示になります。

1 オン時刻をセットする



● オン時刻は、5分単位で設定できます。
● 他のタイマーと組み合わせた場合、最後に動作した入力ソースが再生されます。

2 決定する



解除するには

電源がオフのままで、tuning(▽)キーを2回押します。

おやすみタイマー

何分後に電源を切るかを設定します

1 電源をオンにする



● セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。

● 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。最大約90分まで設定できます。

90 → 80 → 70 30 → 20 → 10 → 解除 → 90 → 80

2 時間を設定する



解除するには

電源をオフにする、またはSLEEPキーを解除になるまで押します。

プログラムタイマー予約

24時間タイマーです(毎日働きます)。

働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください

1 聴く(録音する)ための準備をする

- 放送局を聴く
放送局をプリセットしておく-**[31]**
- CDを聴く
ディスクを入れる(プログラム再生はできません。)
- テープを聴く
カセットデッキにテープをセットする
- MDを聴く
MDレコーダーにディスクをセットする
- 録音をする
録音の準備をする
テープ
-**[32]**手順1~4
MD
-**[36]**手順1~4

2 音量を調節する

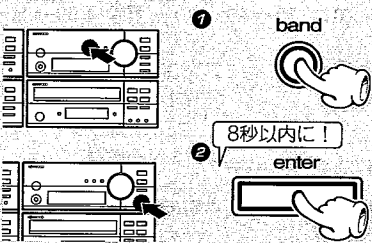


●放送を録音するときは、タイマーで電源がオンになると、最低の音量に自動的にセットされます。

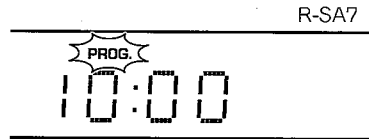
3 電源をオフ(スタンバイ状態)にする



4 タイマー予約モードにする

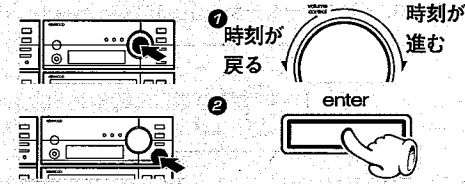


- "PROG."インジケータが点灯します。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容に変わります。



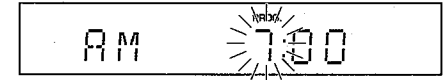
R-SA7

5 オン時刻を設定する



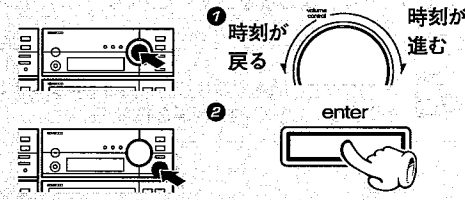
- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。

R-SA7



- 間違えたときは手順②からやり直してください。

6 オフ時刻を設定する



- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。

R-SA7



- 間違えたときは手順②からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

① モードを選ぶ
"PLAY"または"AI"を選ぶ
[PLAY] タイマー再生
[REC] だんだん音が大きくなるタイマー再生
[AI] 再生
決定する

② 入力ソースを選ぶ
何を聴くか選ぶ
TUNER 放送
CD CD
TAPE テープ
MD MD
決定する

③ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)
プリセットチャンネルを選ぶ
決定する

放送のタイマー録音をするとき

① モードを選ぶ
"REC"を選ぶ
[PLAY]
[REC]
[AI]
決定する

② 放送局を選ぶ
プリセットチャンネルを選ぶ
決定する

③ 録音する機器を選ぶ
[TAPE] テープ
[MD] MD
決定する

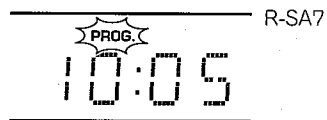
次ページに続く



8 プログラムをセットする



- "PROG."インジケータが点灯します。



- プログラムをセットしないと、タイマーは働きません。

以上でプログラムタイマー予約は終了です。確認・変更などをするときには、次の項をご覧ください。

電源がオフになっていることを確認してください。

- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

予約の内容を確認する



- 予約内容を3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

予約内容を変更したいときは

"タイマー予約をする"を始めてからやり直してください。

タイマーを働かせたくないとき

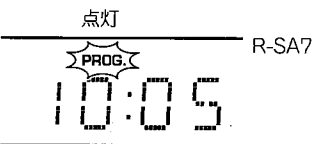
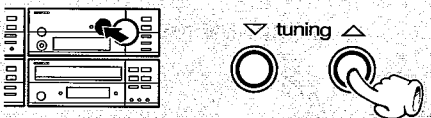
プログラム表示を消灯させる



- 予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットする

プログラム表示を点灯させる



- ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

メンテナンス

ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。

クリーニングは、市販のクリーニングテープで行ってください。詳しくは、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

参考

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

ドルビーノイズリダクションおよびHX PROヘッドルームエクステンションは、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

HX PROは、バング アンド オルフセンの考案です。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号およびHX PROは、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. CDやMDを入れずに電源をオンにします。

2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

DM-SA5

no disc 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10
no disc 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20

3. 数秒間待って、電源をオフにします。

著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

アンプ部
POWERの状態(ONまたはOFF)
入力切換
ボリュームの値
チューナー部
受信バンド
周波数
プリセット放送局
プログラムの設定内容
MDレコーダー部

- [84]

ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品

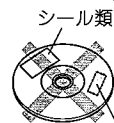
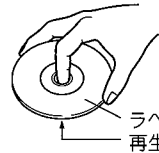
ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクとテープの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

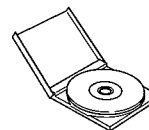
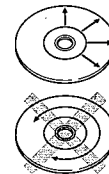


糊のベタつき

取り扱い

再生面にふれないように持ってください。

- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずアルコールでふき取ってからご使用ください。特に中古CD、レンタルCD等にご注意ください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

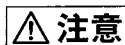
保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm, 8cm), CDV (オーディオパートのみ)

- CD - G (CDグラフィックス)ディスクは、本機では音声のみの再生になります。



注意

異常なディスクは使用しない



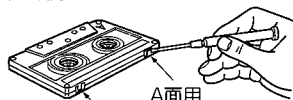
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

カセットテープについてのご注意

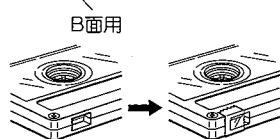
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。

誤消去・誤録音が防げます。



A面用



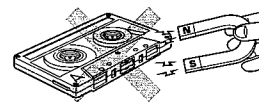
B面用

再び録音するには

ツメを折った所だけにテープをはる。

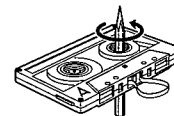
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

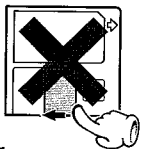
ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。

無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。

従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにディスクをセットから取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク裏面



ミニディスクMDシステムとは

ミニディスクシステムの特長をまとめると、次のようになります。

- ①CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ②カートリッジに入った直径64mmのディスクを使用する。
- ③2種類のディスクに対応する。(再生専用、録音→再生)
- ④高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤半導体メモリーを使った耐震技術。

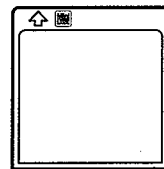


2種類のミニディスク

ミニディスクには、再生専用のもので、録音→再生のもの、2種類があります。

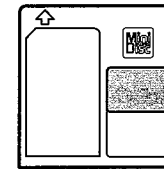
再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



録音用ミニディスク

録音が可能なミニディスクで、光磁気ディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ディスクの下面からレーザー光を照射し、ミニディスクの上面から磁界を印加して記録しています。



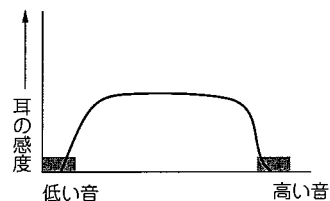
高能率符号化技術 "ATRAC"

ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された*高能率符号化技術によって可能となりました。

*高能率符号化技術: ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音



低い音や高い音は、ある程度の音量がないと聞き取れない。

大きな音の近くの小さな音



大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。(マスキング効果)

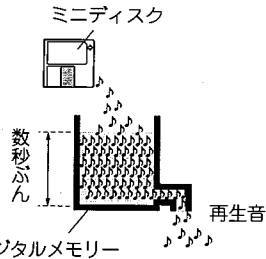
次ページに続く

ミニディスク MDシステムとは (つづき)

音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時



再生中、音は数秒先のぶんまでメモリーに蓄えられています。

震動があったとき



震動や衝撃を受けてディスクからの読みだしが途切れても、メモリーからの再生音は途切れません。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都港区新橋1丁目4番5号徳山曹達本館ビル
電話 (03)3506-8407
FAX. (03)3506-8408

故障と思われる症状ですが

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

R-SA7

電源プラグをコンセントから抜き、"power"キーを押しながら、差し込み直す。

DM-SA5

電源プラグをコンセントから抜き、MDレコーダー部のイジェクト(▲)キーを押しながら、差し込み直す。

X-SA7

電源プラグをコンセントから抜き、"stop"キーを押しながら、差し込み直す。

アンプ・チューナー・スピーカー

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●ミュートがオンになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●ミュートをオフにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> → 8 → 18 → 19 → 19
表示部がすべてのケタで"-."の点滅表示となり、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。 	→ 8
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 	→ 8
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 68 → 68
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●"Tuning(Δ)"キーで実行指定をする。 	<ul style="list-style-type: none"> → 68 → 70 → 72
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 5 → 30 → 30
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 	→ 5

アンプ・チューナー・スピーカー

症状	原因	処置	参照
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 	<ul style="list-style-type: none"> → [31] → [31]

CDプレーヤー

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●"露付きにご注意"を参照し露を蒸発させる。 	<ul style="list-style-type: none"> → [20] → [20] → [75] → [74]
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●▶/II キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 	<ul style="list-style-type: none"> → [20] → [20] → [75]
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。 	→ [75]

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに" DISC FULL "と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●255曲以上(トラック番号255以上)は録音できません。(トラック番号255未満でも録音できないことがあります) ●このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" ^{リーディング} が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル長時間録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部 (その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 	→ [6]
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(アナログ録音時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●アンプのREC INPUTの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ●入力切換がMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り換える。 ●アナログ録音にする。 ●録音レベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●実際の入力ソースと合わせる。 ●入力切換を録音したいソースにする。 	<ul style="list-style-type: none"> → [72] → [39] → [36]
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(アナログ録音時) ●はずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルを調節する。 ●再度録音をする。 	
雑音大きい。	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	
録音された音量が途中で変わっている。	●アナログ録音中にREC LEVEL ^{レック レベル} キーを押した。	●録音中は、REC LEVEL ^{レック レベル} キーを押さないでください。	

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
no disc	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	
CAN'T COPY	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音にする。	→ [39]
DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●255曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには255曲以上録音できません。	
TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ [53]
BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。	
READING	●TOC *1情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
DISC ERROR または DISC ERR ※※ (※は数字や記号)	●UTOC *2の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→ [65]
CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
PROTECTED	●ミニディスクが録音禁止状態(WRITE PROTECT)になっている。	●録音可能状態(WRITE PROTECTを解除)にする。	→ [76]
PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。	→ [77]
CAN'T REC	●ディスクに傷があるため、録音が途切れる。	●他の録音用ディスクと取り換える。	
NOT AUDIO	●オーディオ用でないデータが記録されている。	●ディスクを取り換える、または他の曲を選ぶ。	
TEMP OVER	●温度が高くなりすぎた。	●システム全体の電源を切っしばらく休ませる。	

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。

TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。


*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。

このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

カセットデッキ

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。	●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。	→ [73]
操作キーを押しても作動しない。	●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。	●4秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。	→ [22] → [23]
DPSSが誤動作する。	●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。	●"飛び越し選曲"をお読みください。	→ [24]
オープncロズキーを押してもトレイが開かない。	●録音中に押している。 ●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。	●停止状態で押す。 ●マイコンをリセットする。	→ [33] → [79]
音がかすれたり高音が出なくなる。	●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になっている。	●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。	→ [73]
音がひずむ。	●CRLSキーで録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。	●"録音レベルを自動調整する"をお読みください。 ●テープを交換する。	→ [34]
雑音大きい。	●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビーNRをオンで録音したテープをオフで再生している。	●"ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 ●電気器具、テレビなどから離す。 ●DOLBY NRをオンにする。	→ [73] → [23]
音がふるえる。	●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。	●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。	→ [73] → [23]
録音キーを押しても録音できない。	●カセットテープのツメが折れている。 ●入力切換キーが、TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。	●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●入力切換キーを録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。	→ [75] → [18] → [23]

リモコン

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● 再生しようとする機器に、テープ、CDまたはMDが入っていない。 ● 録音中のカセットデッキまたはMDで再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。 ● 再生しようとする機器に、テープ、CDまたはMDを入れる。 ● 録音が終わるまで待つ。 	



1. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに「キュー」という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くためで、故障ではありません。
2. 110分以上のテープは、テープ厚が薄くてわかめ状になりやすいため、ご使用にならないください。

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源オフまたは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのMDメモリーの記憶時間は、約1日間です。長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ディスク取り出し時に記録される)がディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。

録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出ししてください。

KF-6000MD (J)

アンプ・チューナー (R-SA7)

[チューナー部]

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76MHz~90MHz
実用感度(モノラル)	2.0 μ V(75 Ω) / 17.2 dB
SN比(1 kHz, 75 kHz dev.)	
モノラル	73 dB(65 dBf 入力時)
ステレオ	65 dB(65 dBf 入力時)
実効選択度(±400 kHz)	50 dB
ステレオ セパレーション(1 kHz)	40 dB
出力レベル/インピーダンス(FM 1kHz、75kHz DEV.)	
固定出力	0.6 V / 1 k Ω

AMチューナー部

受信周波数範囲	531kHz~1,602kHz
実用感度	12 μ V(500 μ V / m)
SN比	
モノラル	51 dB
ステレオ	38 dB
ステレオ セパレーション	30 dB

[アンプ部]

実用最大出力	
AB級	20W+20W(EIAJ 6 Ω)
A級	5W+5W(EIAJ 6 Ω)
SN比	
ライン	92dB(EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.02 % (1 kHz、10 W、6 Ω)
周波数特性	
ライン	20 Hz~100 kHz、+0 dB、-3 dB
入力感度/インピーダンス	
ライン	200 mV / 47 k Ω
出力レベル/インピーダンス	
TAPE REC	200 mV / 1 k Ω
スーパーウーファープリアウト	2 V / 1 k Ω

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	35W
最大外形寸法	
	幅 200mm
	高さ 75mm
	奥行 264mm
質量(重量)	3.3kg(正味)

KF-6000MD (J)

カセットデッキ(X-SA7)

トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 交流バイアス(周波数: 105kHz)
ヘッド

録音・再生ヘッド	1
消去ヘッド	1
モーター	DCモーター X1
ワウ&フラッター	0.1% (W.RMS)
早巻き時間	約110秒(C-60)
周波数特性	

TYPE I (ノーマルテープ)	40Hz~18kHz, \pm 3dB
TYPE II (クロームテープ)	40Hz~19kHz, \pm 3dB
総合SN比(クロームテープ)	
DOLBY NR OFF	60dB
DOLBY B NR ON	67dB
DOLBY C NR ON	73dB
入力感度/インピーダンス	
ライン(REC)	77.5mV/47k Ω
出力レベル/インピーダンス	
ライン(PLAY)	77.5mV/10k Ω

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	10W
ACコンセント	1(非連動最大100W)
最大外形寸法	
	幅 200mm
	高さ 75mm
	奥行 249mm
質量(重量)	2.2kg(正味)

スピーカー部 (LS-G40)

型式	LS-G40
エンクロージャー	バスレフ型
スピーカー構成	
ウーファー	130mm コーン型
ツイーター	65mm コーン型
スーパーツイーター	25mm ピエゾ型
インピーダンス	6 Ω
最大入力	80W
最大外形寸法	
	幅 180mm
	高さ 305mm
	奥行 238mm
質量(重量)	3.0kg(正味)

MDレコーダー/CDプレーヤー (DM-SA5)

MDレコーダー部

【規格】

形式 ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式

..... 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

記録方式

..... 磁界変調オーバーライト

音声圧縮方式

ATRAC (Adaptive アダプティブ TRansform トランスフォーム Acoustic Coding アコースティック コーディング)

回転数 約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバージョン ビットストリーム

【A/Dコンバーター】

A/Dコンバーター ビットストリーム

サンプリング周波数 44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性 (再生時) 8 Hz ~ 20 kHz, ± 1 dB

SN比 (再生時) 91dB 以上

ダイナミックレンジ (再生時) 90 dB 以上

総合ひずみ率 (1 kHz, 再生時) 0.009 % 以下

ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

アナログ入力感度/入力インピーダンス

..... 300mV / 22 k Ω 以上

アナログ出力レベル/出力インピーダンス

..... 1.2V / 3.2 k Ω

CDプレーヤー部

読み取り方式 非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)

回転数 200rpm ~ 500rpm (CLV)

周波数特性 (EIAJ) 8 Hz ~ 20,000 Hz

SN比 (EIAJ) 93 dB 以上

ダイナミックレンジ (EIAJ) 90 dB 以上

全高調波ひずみ率 (EIAJ) 0.006 % 以下 (1 kHz)

ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下 (± 0.001 % W PEAK)

出力レベル/インピーダンス

固定出力 1.2V / 1 k Ω

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz

定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 12 W

ACコンセント 1 (非連動最大合計 200W)

最大外形寸法 幅 200 mm

高さ 150 mm

奥行 247 mm

質量 (重量) 3.2 kg (正味)

KF-6000MD (J)

KF-6000MD (J)

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項 (お買い上げ日、販売店名など) が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。
(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



● 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理料金のしくみ (有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

出張修理を依頼される場合は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先 (お名前、住所、電話番号)



1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い (摂氏0度以下) の場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。